

## 3年—Unit 1 単元名 Hello! あいさつをして友だちになろう

## 1. 単元目標

- ・世界にはさまざまな言語があることに気付くとともに、挨拶や名前の言い方に慣れ親しむ。(知識及び技能)
- ・名前を言って挨拶をし合う。(思考力, 判断力, 表現力等)
- ・相手に伝わるよう工夫しながら, 名前を言って挨拶を交わそうとする。(学びに向かう力, 人間性等)

## 2. 言語材料

- Hello. Hi. I'm (Hinata). Goodbye. See you.
- 挨拶 (hello, hi, goodbye, see you), friend, I, am

## 3. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話された際に, 身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと (やり取り)	ア 自分のことや身の回りの物について, 動作を交えながら, 自分の考えや気持ちなどを, 簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。

## 4. 単元計画 (2時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (【 】, ○) 【 】 = 誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	<p>◆世界にはさまざまな言語があることに気付くとともに, 挨拶や名前の言い方に慣れ親しむ。</p> <p>○外国語活動の時間に, どのような活動をしていくのかを知る。</p> <p>【Let's Watch and Think】 p.2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・映像資料を視聴し, 世界にはさまざまな国があり, 国の様子や言語や挨拶も違うことに気付く。</li> </ul> <p>○世界のさまざまな言語で挨拶をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教室内を自由に歩き, 友達とさまざまな国の言葉で挨拶をし合う。</li> </ul> <p>○挨拶をして自分の名前を言い, 名札をもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者に挨拶をして自分の名前を言い, 指導者から名札を受け取る。</li> </ul> <p>【Let's Chant】 Hello! p.3</p>	<p>※外国語活動第1時であることから, 目標に向けての指導は行うが, 評価の記録は残さない。</p>
2	<p>◆世界にはさまざまな言語があることに気付くとともに, 相手に伝わるように工夫しながら名前を言って挨拶を交わそうとする。</p> <p>【Let's Watch and Think】 p.2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・映像資料で登場人物の挨拶と名前 (自国の言葉と英語) を聞く。</li> </ul> <p>【Let's Listen】 p.4</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶を聞いて登場人物と国旗を線で結ぶ。</li> </ul> <p>【Let's Chant】 Hello! p.3</p> <p>○パス・ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボール等を順に回し, 指導者と挨拶を交わし自分の名前を言う。</li> </ul> <p>【Activity】 p.5</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自由に歩いて, 友達と挨拶を交わし名前を言い合う。</li> </ul>	<p>◎世界には, さまざまな言語があることに気付いている。&lt;行動観察・振り返りカード分析&gt;</p> <p>◎名前を言って挨拶をし合っている。&lt;行動観察・振り返りカード点検&gt;</p> <p>◎相手に伝わるように工夫しながら, 名前を言って挨拶を交わしている。&lt;行動観察・振り返りカード点検&gt;</p>

3年 Unit 1-Lesson 1 単元名 Hello! あいさつをして友だちになろう 1/2時間
目 標 世界にはさまざまな言語があることに気付くとともに、挨拶や名前の言い方に慣れ親しむ。
準 備 デジタル教材、児童用テキスト、教師用カード(国旗)、ワークシート(Unit 1-2, 1-3 めいしカード)、名札(各児童用)、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価方法	準備物		
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。この時、児童は英語での挨拶の仕方を知らないと思われる。指導者は、Hello.と言いながら、児童にその通りに返すよう促すとよい。			
10分	○外国語活動の時間に、どのような活動をしていくのかを知る。	・テキストの表紙などから気付いたこと等を自由に発表させ、テキストのタイトル「Let's Try!」に込められた願いにも触れながら、これから行う外国語活動への意欲や期待が高まるようにする。	児童用テキスト デジタル教材		
<p style="text-align: center;"><b>「Let's Try!」というタイトルについて</b></p> <p>“Let's”とは、話し手も聞き手も含めてみんなでという意。“Try”は、間違ってもいいからやってみるという意。外国語活動では、間違いを恐れず、みんなで外国語を使って互いの気持ちや考えを伝え合おうとすることを大切にしたい。そのためにも、指導者自ら外国語を使うことを心掛けたい。</p>					
10分	<b>【Let's Watch and Think】 p.2</b> ・映像資料から、世界にはさまざまな国があり、国によって言語や挨拶の仕方が違うことに気付く。	・世界地図や登場人物等に目を向けさせ、児童の興味を喚起しながら映像資料の視聴につなげる。 ・さまざまな国の様子や、言語、挨拶の違い等に気付かせる。	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード(国旗)		
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">           ① Finland フィンランド：Terve. (テルヴェ)            ② China 中国：你好。(ニーハオ)            ③ Germany ドイツ：Guten Tag. (グーデンターク)            ④ Japan 日本：こんにちは。            ⑤ Kenya ケニア：Jambo. (ジャンボ)         </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">           ⑥ India インド：नमस्ते (ナマステ)            ⑦ Korea 韓国：안녕하세요. (アンニョンハセヨ)            ⑧ America アメリカ：Hello.            ⑨ Australia オーストラリア：Hello.         </td> </tr> </table>				① Finland フィンランド：Terve. (テルヴェ) ② China 中国：你好。(ニーハオ) ③ Germany ドイツ：Guten Tag. (グーデンターク) ④ Japan 日本：こんにちは。 ⑤ Kenya ケニア：Jambo. (ジャンボ)	⑥ India インド：नमस्ते (ナマステ) ⑦ Korea 韓国：안녕하세요. (アンニョンハセヨ) ⑧ America アメリカ：Hello. ⑨ Australia オーストラリア：Hello.
① Finland フィンランド：Terve. (テルヴェ) ② China 中国：你好。(ニーハオ) ③ Germany ドイツ：Guten Tag. (グーデンターク) ④ Japan 日本：こんにちは。 ⑤ Kenya ケニア：Jambo. (ジャンボ)	⑥ India インド：नमस्ते (ナマステ) ⑦ Korea 韓国：안녕하세요. (アンニョンハセヨ) ⑧ America アメリカ：Hello. ⑨ Australia オーストラリア：Hello.				
7分	○世界のさまざまな言語で挨拶をする。 ・世界の言語で挨拶をする。	・児童の実態に合わせて数カ国を選び、「世界旅行に行ってあいさつをしよう!」などと言葉かけをして意欲付けを図り、活動を通して世界にはさまざまな言語や挨拶があることを感じ取らせる。	教師用カード(国旗) デジタル教材		
<p><b>進め方</b></p> <p>・挨拶をする国を3～4カ国決める。音楽が流れている間児童は自由に教室内を歩く。指導者は Stop! などと声をかけ、国旗を押さえたり、デジタル教材の映像を見せたりして、国名、例えば、China! などと言う。</p> <p>・再び音楽がスタートするまで、中国に行ったつもりで、数名の友達と中国語で挨拶を交わす。他の国でも同様に活動を繰り返す。慣れてきたら、児童に指導者役をさせるとよい。</p>					
5分	○挨拶をして自分の名前を言い、名札をもらう。 ・指導者に挨拶をして自分の名前を言い、指導者から名札を受け取る。	・児童1人ひとりと挨拶を交わし、名前を言わせて名札を手渡す。複数の指導者がいる場合は、分担して行い、1人の場合は活動時間の確保のため、授業前に渡すようにしてもよい。 ・児童が名札を受け取る際には、Thank you. というよう促す。また指導者も、渡す際には Here you are. と言い、児童の Thank you. という返事に対して、You're welcome.と返すことを心掛けたい。このようなコミュニケーションを豊かにするやり取りを大切にしたい。	名札(ローマ字で児童の名前を書いた名札を児童数分用意しておく) ワークシート (Unit 1-2, 1-3 めいしカード)		

4分	<p><b>【Let's Chant】 Hello! p.3</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音声を真似てチャンツを言う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・画面を見せ、場面を把握させる。</li> <li>・慣れるまでゆっくり真似て言わせ、指導者も児童と一緒に言う。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>Hello, (hello,) hello, I'm Emily. Hi, (hi,) hi, I'm Takeru. Let's, let's, let's be friends!</p> </div>	デジタル教材 児童用テキスト
7分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	振り返りカード

※外国語活動第1時であることから、目標に向けての指導は行いが、評価の記録は残さない。

3年 Unit 1-Lesson 2 単元名 Hello! あいさつをして友だちになろう 2/2 時間
目 標 世界にはさまざまな言語があることに気付くとともに、相手に伝わるように工夫しながら名前を言って挨拶を交わそうとする。
準 備 デジタル教材、児童用テキスト、教師用カード (国旗)、ボール等、ワークシート (Unit 1-1 あいさつビンゴシート)、CD (音楽)、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物																		
3分	・挨拶をする。 I'm ~. How are you?	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。																			
5分	<b>【Let's Watch and Think】</b> p.2 ・再度映像資料を視聴する。	・前時の誌面を開かせ、それぞれの国の様子や挨拶について想起させ、再度視聴させる。  ◎世界には、さまざまな言語があることに気付いている。<行動観察・振り返りカード分析>	児童用テキスト デジタル教材 教師用カード (国旗)																		
		<table border="1"> <tr><td>① Finland フィンランド</td><td>: Terve. (テルヴェ)</td></tr> <tr><td>② China 中国</td><td>: 你好。 (ニーハオ)</td></tr> <tr><td>③ Germany ドイツ</td><td>: Guten Tag. (グーデンターク)</td></tr> <tr><td>④ Japan 日本</td><td>: こんにちは。</td></tr> <tr><td>⑤ Kenya ケニア</td><td>: Jambo. (ジャンボ)</td></tr> <tr><td>⑥ India インド</td><td>: नमस्ते (ナマステ)</td></tr> <tr><td>⑦ Korea 韓国</td><td>: 안녕하세요. (アンニョンハセヨ)</td></tr> <tr><td>⑧ America アメリカ</td><td>: Hello.</td></tr> <tr><td>⑨ Australia オーストラリア</td><td>: Hello.</td></tr> </table>	① Finland フィンランド	: Terve. (テルヴェ)	② China 中国	: 你好。 (ニーハオ)	③ Germany ドイツ	: Guten Tag. (グーデンターク)	④ Japan 日本	: こんにちは。	⑤ Kenya ケニア	: Jambo. (ジャンボ)	⑥ India インド	: नमस्ते (ナマステ)	⑦ Korea 韓国	: 안녕하세요. (アンニョンハセヨ)	⑧ America アメリカ	: Hello.	⑨ Australia オーストラリア	: Hello.	
① Finland フィンランド	: Terve. (テルヴェ)																				
② China 中国	: 你好。 (ニーハオ)																				
③ Germany ドイツ	: Guten Tag. (グーデンターク)																				
④ Japan 日本	: こんにちは。																				
⑤ Kenya ケニア	: Jambo. (ジャンボ)																				
⑥ India インド	: नमस्ते (ナマステ)																				
⑦ Korea 韓国	: 안녕하세요. (アンニョンハセヨ)																				
⑧ America アメリカ	: Hello.																				
⑨ Australia オーストラリア	: Hello.																				
7分	<b>【Let's Listen】</b> p.4 ・音声聞いて、登場人物と国旗を線で結ぶ。	・誌面の登場人物を見て、国名や挨拶を予想させるなどして、活動への興味を高めるようにする。	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (国旗)																		
		<table border="1"> <tr><td>1 Hello. I'm Olivia. I'm from America.</td></tr> <tr><td>2 Jambo. Hello. I'm Jomo. I'm from Kenya.</td></tr> <tr><td>3 안녕하세요. (アンニョンハセヨ) Hello. I'm To-yun. I'm from Korea.</td></tr> <tr><td>4 नमस्ते (ナマステ) Hello. I'm Anita. I'm from India.</td></tr> <tr><td>5 Guten Tag. Hello. I'm Leon. I'm from Germany.</td></tr> <tr><td>6 你好。 (ニーハオ) I'm Shin-han. I'm from China.</td></tr> </table>	1 Hello. I'm Olivia. I'm from America.	2 Jambo. Hello. I'm Jomo. I'm from Kenya.	3 안녕하세요. (アンニョンハセヨ) Hello. I'm To-yun. I'm from Korea.	4 नमस्ते (ナマステ) Hello. I'm Anita. I'm from India.	5 Guten Tag. Hello. I'm Leon. I'm from Germany.	6 你好。 (ニーハオ) I'm Shin-han. I'm from China.													
1 Hello. I'm Olivia. I'm from America.																					
2 Jambo. Hello. I'm Jomo. I'm from Kenya.																					
3 안녕하세요. (アンニョンハセヨ) Hello. I'm To-yun. I'm from Korea.																					
4 नमस्ते (ナマステ) Hello. I'm Anita. I'm from India.																					
5 Guten Tag. Hello. I'm Leon. I'm from Germany.																					
6 你好。 (ニーハオ) I'm Shin-han. I'm from China.																					
3分	<b>【Let's Chant】 Hello! p.3</b> ・音声に合わせてチャンツを言う。 ・自分の名前チャンツを言う。	・指導者も一緒に言う。 ・慣れてきたら、カラオケバージョンを活用して児童に自分たちの名前を言わせるようにし、英語を使ったコミュニケーションへの意欲付けを図る。 ・慣れてきたら、チャンツの名前を児童の名前に替えて言うことで、よりチャンツへの興味が高まると思われる。	デジタル教材 児童用テキスト																		
		<table border="1"> <tr><td>Hello, (hello,) hello, I'm Emily.</td></tr> <tr><td>Hi, (hi,) hi, I'm Takeru.</td></tr> <tr><td>Let's, let's, let's be friends!</td></tr> </table>	Hello, (hello,) hello, I'm Emily.	Hi, (hi,) hi, I'm Takeru.	Let's, let's, let's be friends!																
Hello, (hello,) hello, I'm Emily.																					
Hi, (hi,) hi, I'm Takeru.																					
Let's, let's, let's be friends!																					
5分	<b>〇パス・ゲーム</b> ・指導者と挨拶を交わし自分の名前を言う。 Hello! I'm ~.	・数名の児童とデモンストレーションを示し、進め方を理解させる。 ・活動に慣れるまでは指名の仕方に配慮をする。 ・学級の実態に合わせて、全体、グループで行うなど活動形態にも配慮する。	ボール等 (パスできる物) CD (音楽)																		

	<p><b>パス・ゲームの進め方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽に合わせて、児童がボールなどを順にパスする。</li> <li>・指導者が Stop! などと言った時（音楽が止まった時）に、ボールを持っている児童と指導者が挨拶を交わし名前を言い合う。その際、児童の実態に合わせて、Here you are. Thank you. とボールの受け渡しをすることも考えられる。</li> </ul>		
15分	<p><b>【Activity】 p.5</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自由に歩いて友達と挨拶をして名前を言い合い、相手のテキスト誌面に自身の名前を日本語で書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室内を自由に歩いて、出会った友達と挨拶をして、名前を伝え合うよう言う。名前を伝え合ったら、相手のテキスト誌面に自身の名前を書くよう指示する。</li> <li>・活動を途中で一旦止める。前半で、指導者は挨拶や名前を言い合う際に気持ち良いやり取りをしていたペアを探しておき、その児童にみんなの前で挨拶等を再現させる。そのペアのやり取りから良かった点を他の児童に発表させ、それらに気を付けて後半をやってみよう声かけをすることで、後半のやり取りがより相手に伝わるよう工夫したものになることが期待できる。</li> <li>・誌面に挨拶を交わした友達の名前を記載するのは、何人と挨拶ができたかを競うためではないことに留意させる。自身が英語を使って友達と挨拶をしたことが可視化されることで、児童が自分の頑張りを認められるようにするためである。</li> <li>◎名前を言って挨拶をし合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</li> <li>◎相手に伝わるように工夫しながら、名前を言って挨拶を交わしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</li> </ul>	<p>デジタル教材 児童用テキスト ワークシート (Unit 1-1 あいさつビンゴシート)</p>
7分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	<p>振り返りカード</p>

## 3年—Unit 2

## 単元名 How are you?

## ごきげんいかが？

## 1. 単元目標

- ・ 表情やジェスチャーの大切さに気付き、感情や状態を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。(知識及び技能)
- ・ 表情やジェスチャーを工夫しながら挨拶をし合う。(思考力, 判断力, 表現力等)
- ・ 表情やジェスチャーを付けて相手に伝わるように工夫しながら, 挨拶をしようとする。(学びに向かう力, 人間性等)

## 2. 言語材料

- How are you? I'm (happy).
  - how, are, me, and, 状態・気持ち (fine, happy, good, sleepy, hungry, tired, sad, great)
- [既出] 挨拶・自己紹介

## 3. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話された際に, 身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと (やり取り)	ア 自分のことや身の回りの物について, 動作を交えながら, 自分の考えや気持ちなどを, 簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。

## 4. 単元計画 (2時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (【 】, ○) 【 】 = 誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	<p>◆感情や状態を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>○チャンツ Hello! (Unit 1)</p> <p>【Let's Watch and Think 1】 p.6, 7</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 登場人物たちの会話から感情や状態を表す表現を知る。</li> </ul> <p>【Let's Listen】 p.8</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音声を聞いて, 登場人物と感情や状態を表すイラストを線で結ぶ。</li> </ul> <p>【Let's Sing 1】 Hello Song p.8</p> <p>【Activity】 p.9</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童どうして, 様子を尋ねたり答えたりする。</li> </ul> <p>【Let's Watch and Think 2】 p.9</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ジェスチャーが表す意味を考える。</li> </ul> <p>【Let's Sing 2】 Goodbye Song p.8</p>	◎感情や状態を尋ねたり答えたりしている。<行動観察・振り返りカード点検>
2	<p>◆表情やジェスチャーの大切さに気付き, 表情やジェスチャーを付けて相手に伝わるように工夫しながら, 挨拶をしようとする。</p> <p>○チャンツ Hello! (Unit 1)</p> <p>【Let's Sing 1】 Hello Song p.8</p> <p>○ペアで挨拶をしよう。</p> <p>【Let's Watch and Think 1】 p.6, 7</p> <p>【Activity】 p.9</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 状態や体調を尋ね合い, 誌面の表に, 尋ねた人の名前を書く。</li> </ul> <p>【Let's Sing 2】 Goodbye Song p.8</p>	◎表情やジェスチャーを付けて相手に伝わるように工夫しながら, 挨拶をしている。<行動観察・振り返りカード点検> ◎表情やジェスチャーの大切さに気付いている。 <行動観察・振り返りカード分析>

3年 Unit 2-Lesson 1 単元名 How are you? ごきげんいかが? 1/2 時間
目 標 感情や状態を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
準 備 デジタル教材, 児童用テキスト, 教師用カード (状態・感情), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
3分	・挨拶をする。 I'm ~. How are you? ○チャンツ Hello! (Unit 1)	・全体に挨拶をし, 個別に数名の児童に挨拶をする。 ・児童と一緒に言う。	デジタル教材
7分	<b>【Let's Watch and Think 1】</b> p.6, 7 ・登場人物たちの会話から感情や状態を表す表現を知る。	・誌面から児童の自由な発言を促し「遠足」の場面であることを確認する。 ・登場人物の表情からどのような話をしているかを想像させ, 表現と出会わせるようにする。 ・テキスト誌面には, 5組の子供がいる。それぞれの会話を視聴させる前に, 児童のつぶやきを拾いながら, 絵カードを見せて Tired? Happy? Sleepy? Hungry? Sad? などと言い, これらの言い方に出会わせるとよい。	児童用テキスト デジタル教材 教師用カード (状態・感情)
<p>先生 : Hi, Graham. How are you? ALT : I'm great, thanks. How are you, Ms. Ogawa? 先生 : I'm fine, thank you. Oh, it's time to go. (自分の腕時計を見て, 慌てて) See you later, Graham. ALT : See you! Take care! (先生が子供のほうへ行くのを見送る)</p> <p>① A : Nice catch. B : I'm tired. Let's stop. A : OK. Let's have lunch.</p> <p>② A : Oh, no. Are you OK? B : I'm sad. A : Here you are. B : Thank you. I'm happy.</p> <p>③ A : I'm hungry. B : Hmm, yummy.</p> <p>④ A : Wow! Nice <i>obento!</i> B : Thank you. I'm very happy.</p> <p>⑤ A : Are you OK? B : I'm sleepy.</p>			
6分	<b>【Let's Listen】</b> p.8 ・音声を聞いて, 登場人物と感情や状態を表すイラストを線で結ぶ。	・指導者どうして How are you? I'm ~. という表現を使って尋ね合う会話を聞かせるなどし, おおよその意味をつかませてから本活動に入るようにする。ALT 等の外部指導者がいない場合は, パペットなどを使って指導者が1人2役をする方法なども考えられる。 ・誌面の6つの状態を表すイラストが表す意味を児童と確認したり, 登場人物の答えを予想させたりして, 活動への意欲を高めた後に音声を聞かせる。	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (状態・感情)
<p>1 先生 : Hi, Takeru. How are you? たける : I'm fine.</p> <p>2 先生 : Hello, Emily. How are you? エミリー : I'm hungry.</p> <p>3 先生 : Hi, Robert. How are you? ロバート : I'm sleepy.</p> <p>4 先生 : Hello, Sayo. How are you? さよ : I'm happy.</p>			
4分	<b>【Let's Sing 1】 Hello Song</b> p.8 ・ジェスチャーを付けるなどして歌う。	・まず, 最初は歌を聞かせ, 歌える部分から歌うよう促す。児童自身にジェスチャーを考えさせたり, 歌詞を児童に選ばせる形で fine の部分を hungry や sleepy などに替えたりして, 楽しく歌えるよう工夫する。	デジタル教材 児童用テキスト
<p>Hello. Hello. Hello, how are you? I'm good. I'm good. I'm good, thank you. And you?</p>			

7分	<p><b>【Activity】 p.9</b></p> <p>・児童どうして、様子を尋ねたり答えたりする。</p>	<p>・指導者が数名の児童に How are you?と尋ねる。児童が happy などと単語で答えると予想されることから、その場合は、 Oh, you are happy. I'm good. (自身を指さしながら)と答え方を提示し、児童に I'm ~. で答えるよう促す。</p> <p>・児童が慣れてきたら、 How are you? と一緒に尋ねるよう促し、これらの表現に慣れ親しませるようにする。</p> <p>・この流れで、隣どうし、前後、斜めでペアになり互いに尋ねたり答えたりするように伝える。</p> <p>◎感情や状態を尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (状態・感情)
8分	<p><b>【Let's Watch and Think 2】 p.9</b></p> <p>・ジェスチャーが表す意味を考え発表する。</p>	<p>・映像資料音声なしを視聴させ、登場人物の表情やジェスチャーから、そのジェスチャーがどんな意味を表しているかを予想させる。また、日本語ではそのような時どのようなジェスチャーをするかも考えさせるとよい。その後、音声ありの映像資料を見せ、表現を確認する。ジェスチャーの意味の違いや面白さに気付かせるようにする。</p>	児童用テキスト デジタル教材
3分	<p><b>【Let's Sing 2】 Goodbye Song p.8</b></p> <p>・音声を聞いて意味を考える。</p> <p>・音声に合わせて歌う。</p>	<p>・音声を聞かせ、聞き取れた表現を尋ねて児童から goodbye などの言葉を引き出しながら、どのような場面かを考えさせ、意味を捉えさせるようにする。</p> <p>・児童と一緒に歌う。</p>	デジタル教材
7分	<p>・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード



3年 Unit 2—Lesson 2 単元名 How are you? ごきげんいかが? 2/2 時間

目 標 表情やジェスチャーの大切さに気付き、表情やジェスチャーを付けて相手に伝わるように工夫しながら、挨拶をしようとする。

準 備 デジタル教材, 児童用テキスト, 教師用カード (状態・感情), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
8分	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶をする。</li> <li>I'm ~. How are you?</li> <li>○チャンツ Hello! (Unit 1)</li> <li>【Let's Sing 1】 Hello Song p.8</li> <li>ジェスチャーを付けるなどして歌う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をし、前時の学習内容を想起させる。</li> <li>児童と一緒に言ったり、ジェスチャーを付けて歌ったりする。</li> <li>オリジナルのジェスチャーを考えさせたり、教室内を自由に歩いてペアになるなど活動形態に変化をもたせたりする。</li> </ul>	デジタル教材
<p>Hello. Hello. Hello, how are you? I'm good. I'm good. I'm good, thank you. And you?</p>			
5分	○ペアで挨拶をしよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>再度、数名の児童に How are you? と尋ね、児童の答えに応じて、絵カードを掲示し、感情や状態を表す語彙を確認する。</li> <li>隣どうし、前後、斜めで挨拶をするよう指示する。</li> </ul>	教師用カード(状態・感情)
7分	<ul style="list-style-type: none"> <li>【Let's Watch and Think 1】 p.7</li> <li>登場人物たちの会話から感情や状態を表す表現を確かめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時の映像を再度視聴する。その前に、テキストのイラストを見て、それぞれの子供がどんな気持ちかを思い出させ、前時に出会った感情や状態を表す語を発表させる。それを確かめるために、映像資料を視聴する。</li> </ul>	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード(状態・感情)
<p>先生 : Hi, Graham. How are you? ALT : I'm great, thanks. How are you, Ms. Ogawa? 先生 : I'm fine, thank you. Oh, it's time to go. (自分の腕時計を見て、慌てて) See you later, Graham. ALT : See you! Take care! (先生が子供のほうへ行くのを見送る)</p> <p>① A : Nice catch. B : I'm tired. Let's stop. A : OK. Let's have lunch.</p> <p>② A : Oh, no. Are you OK? B : I'm sad. A : Here you are. B : Thank you. I'm happy.</p> <p>③ A : I'm hungry. B : Hmm, yummy.</p> <p>④ A : Wow! Nice <i>obento!</i> B : Thank you. I'm very happy.</p> <p>⑤ A : Are you OK? B : I'm sleepy.</p>			
15分	<ul style="list-style-type: none"> <li>【Activity】 p.9</li> <li>状態や体調を尋ね合い、誌面の表に、尋ねた人の名前を書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教室内を歩いて回り、友達とペアになり、挨拶をして状態を尋ね合うよう伝える。</li> <li>まず活動をやってみる。前半で指導者は児童とともに挨拶をしたりしながら、児童の様子を観察し、気持ちのよい挨拶や相手に自分の状態が伝わるように工夫している児童を見つけておく。</li> <li>途中で、活動を止め、相手に気持ちが伝わるよう表情やジェスチャーを付けるなど工夫している児</li> </ul>	デジタル教材 児童用テキスト

		<p>童に全員の前で挨拶の様子を再現させ、ジェスチャーや表情を付けることの大切さを意識付け、ねらいに沿った活動となるようにする。</p> <p>◎表情やジェスチャーを付けて相手に伝わるように工夫しながら、挨拶をしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎表情やジェスチャーの大切さに気付いている。〈行動観察・振り返りカード分析〉</p>	
3分	<p><b>【Let's Sing 2】 Goodbye Song p.8</b></p> <p>・ジェスチャーを付けるなどして歌う。</p>	<p>・ジェスチャーを付けるなどして児童と一緒に歌う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>Goodbye to you. Goodbye to you. Goodbye, dear friends. I'll see you again.</p> </div>	デジタル教材
7分	<p>・本時を振り返り，振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード

## 3年—Unit 3 単元名 How many? 数えてあそぼう

## 1. 単元目標

- ・日本と外国の数の数え方の違いから、多様な考え方があることに気付き、1 から 20 までの数の言い方や数の尋ね方に慣れ親しむ。(知識及び技能)
- ・数について尋ねたり答えたりして伝え合う。(思考力、判断力、表現力等)
- ・相手に伝わるように工夫しながら、数を尋ねたり答えたりしようとする。(学びに向かう力、人間性等)

## 2. 言語材料

- How many (apples)? (Ten) (apples). Yes. That's right. No. Sorry.
- many, 数(1~20), 身の回りの物 (counter, ball, pencil, eraser, ruler, crayon), 果物・野菜 (apple, strawberry, tomato), 形 (circle, triangle, cross, heart), stroke, yes, no, sorry, that, is, right  
[既出] 挨拶・自己紹介, 状態・気持ち

## 3. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ア ゆっくりはっきりと話された際に、自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取るようにする。
話すこと (やり取り)	ウ サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりするようにする。

## 4. 単元計画 (4時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (【 】 , ○) 【 】 = 誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	<p>◆1～10の数の言い方に慣れ親しむ。</p> <p>○歌 Hello Song (Unit 2)</p> <p>○身の回りの物の言い方を知る。</p> <p>【Let's Play 2】 p.12</p> <p>・指導者とじゃんけんをする。No.1 (10回)</p> <p>○ミッシング・ゲーム (1～10)</p> <p>【Let's Sing】 Ten Steps p.10</p> <p>○歌 Goodbye Song (Unit 2)</p>	◎1～10の数を聞いたり言ったりしている。<行動観察・振り返りカード点検>
2	<p>◆日本と外国の数の数え方の違いから、多様な考え方があることに気付いたり、1～20の数の言い方に慣れ親しんだりする。</p> <p>○歌 Hello Song (Unit 2)</p> <p>【Let's Sing】 Ten Steps p.10</p> <p>【Let's Watch and Think】 p.12</p> <p>・どの国の数の言い方が番号を□に書く。</p> <p>○指導者が持っている物やその数を当てる。</p> <p>○誌面にある身の回りの物の数を数える。</p> <p>【Let's Play 1】 p.10, 11</p> <p>・おはじきゲームをする。</p> <p>○歌 Goodbye Song (Unit 2)</p>	◎多様な考え方があることに気付いている。<行動観察・振り返りカード分析>  ◎1～20の数を聞いたり言ったりしている。<行動観察・振り返りカード点検>

3	<p>◆数を尋ねる表現に慣れ親しみ、数を尋ねたり答えたりして伝え合う。</p> <p>○歌 Hello Song (Unit 2)  <b>【Let's Sing】 Ten Steps</b> p.10  <b>【Let's Play 2】</b> p.12  ・指導者とじゃんけんをする。No.2 (10回)</p> <p>○クラップ・ゲーム</p> <p><b>【Let's Play 3】</b> p.13  <b>【Activity 1】</b> p.13  ・りんごの数を尋ね合い、同じ数のりんごを持っている友達を見つける。</p> <p>○歌 Goodbye Song (Unit 2)</p>	<p>◎数を尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎数を尋ねたり答えたりして伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
4	<p>◆相手に伝わるように工夫しながら、数を尋ねたり答えたりしようとする。</p> <p>○指導者の話から最終の活動への見通しをもつ。</p> <p>○どの漢字かな。  <b>【Let's Chant】 How many?</b> p.13  <b>【Activity 2】</b> p.13  ・友達と好きな漢字を紹介し合う。</p> <p>○歌 Goodbye Song (Unit 2)</p>	<p>◎相手に伝わるように工夫しながら、数を尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>

## 3年 Unit 3—Lesson 1 How many? 数えてあそぼう 1/4時間

目 標 1～10の数の言い方に慣れ親しむ。

準 備 身の回りの物（鉛筆や消しゴムなど）、デジタル教材、児童用テキスト、教師用カード（身の回りの物）、教師用カード（1～10）、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。 I'm ~. How are you?	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
2分	○歌 Hello Song (Unit 2) ・ジェスチャーを付けるなどして歌う。	・児童と一緒に歌う。	デジタル教材
15分	○身の回りの物の言い方を知る。 ・指導者の後について言ったり、指導者の質問に答えたりして、身の回りの物の言い方を知る。  ・児童用テキスト p.10, 11 を開き、机の上にある物や数などを言う。その際、英語で言える物は言う。 <誌面に掲載されているものなど> pencil, eraser, ruler, dice, block, apple, heart, ball, crayon, counter, clock, one ~ twelve, A ~ Z	・指導者はあらかじめポケットなどに鉛筆や消しゴム、サイコロなどを入れておき、それを触りながら What's this? と問いかけ、取り出して実物を見せながら、Oh, a pencil. などと言って紹介する。 ・また、児童の机の上にある物などをみんなに見せて Oh, an eraser. と紹介しながら、Everyone, an eraser? と持っているかを他の児童に尋ねる。 (本来は、Do you have an eraser? と尋ねるところであるが、児童の実態に応じて、この場合は An eraser? としている。) ・このようなことを繰り返しながら、児童に身の回りの物の英語での言い方に会わせる。  ・児童用テキストを開かせ、What can you see? などと尋ね、誌面にある物や数などを発表させる。その際、児童が日本語で答えた場合は指導者が英語で返し、身の回りの物の言い方にさらに会わせるようにする。How many apples? One? Two? などと数を尋ね、単元への見通しをもたせる。	身の回りの物（鉛筆や消しゴムなど） 児童用テキスト デジタル教材 教師用カード（身の回りの物）
10分	【Let's Play 2】 p.12 じゃんけんをしよう。No. 1 (10回) ・指導者や友達とじゃんけんをして、その結果を誌面の表に記入する。 ○ (勝ち), △ (あいこ), × (負け)	・じゃんけんを 10 回行った結果を記入させた後に、How many circles / triangles / crosses? と尋ねる。おそらく、指導者が How many ~? と尋ねる前に、児童は表に記入した○, △, ×の数を数え始めていると思われる。そこで、指導者が How many circles? などと尋ねることで、児童の意識と how many という表現が一致し、児童は how many という表現の意味を理解していくと思われる。このように、日本語で「○がいくつありますか」などと尋ねることなく、児童が場面や状況から英語の語句や表現の意味を類推しながら捉えられるようにすることが大切である。 ・表に記入した○, △, ×のそれぞれの数を数えさせたうえで、指導者は、One? Two? … と尋ね、	児童用テキスト デジタル教材 教師用カード (1～10)

		児童に手を挙げさせる。何度も、one～ten の数の言い方を聞かせ、それらの言い方に出会わせるようにする。その際に、教師用カードを黒板に掲示し、次の活動につなげる。		
6分	○ミッシング・ゲーム (1～10)	<ul style="list-style-type: none"> <li>前活動で黒板に掲示した数カードをさしながら、英語での数の言い方を児童と確認し、黒板に10枚の数カードがあることを意識させたうえで、活動に入るとよい。</li> </ul>	教師用カード (1～10)	
		<p><b>ミッシング・ゲームの進め方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指導者は、黒板に1～10の数字カードを掲示し、児童と数の言い方を確認する。全てのカードを外し、その中から1枚カードを除く。取り除いたカード以外のカードを再度黒板に掲示しながら、児童と一緒に言うように促す。最後に黒板にないカードの数が何かを当てるゲーム。隠す数は1～4枚程度 (実態に応じて)。</li> <li>黒板にカードを掲示したまま児童に目を閉じさせ、その間にカード1枚 (順に数を増やす) を取り除き、児童に目を開けさせて、なくなったカードの数を当てさせる方法もある。児童の実態に合わせて選択するとよい。</li> </ul>		
		◎1～10の数を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉		
3分	<p><b>【Let's Sing】 Ten Steps p.10</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音楽に合わせて歌う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童と一緒に歌う。</li> <li>慣れてきたら、数を1つ選ばせ、その数は言わずに手を1回叩くなど、歌い方に変化を付けて意欲が持続するようにする。</li> </ul>	デジタル教材 教師用カード (1～10)	
		<p>One, two, three, four, five, six, seven. One, two, three, four, five, six, seven. Eight, nine, ten, eight, nine, ten. One, two, three, four, five, six, seven.</p> <p>Eleven, twelve, thirteen, fourteen, fifteen, sixteen, seventeen. Eleven, twelve, thirteen, fourteen, fifteen, sixteen, seventeen. Eighteen, nineteen, twenty, eighteen, nineteen, twenty. Eleven, twelve, thirteen, fourteen, fifteen, sixteen, seventeen.</p>		
5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。</li> </ul>	振り返りカード	
2分	○歌 <b>Goodbye Song</b> (Unit 2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童と一緒に歌い、挨拶をする。</li> </ul>	デジタル教材	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌を歌い、挨拶をする。</li> </ul>			

## 3年 Unit 3-Lesson 2 How many? 数えてあそぼう 2/4 時間

目 標 日本と外国の数の数え方の違いから、多様な考え方があることに気付いたり、1～20の数の言い方に慣れ親しんだりする。

準 備 デジタル教材、児童用テキスト、教師用カード（1～20）、箱や袋、鉛筆やおはじき等の身の回りの物1～20個、振り返しカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
1分	・挨拶をする。 I'm ~. How are you?	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
5分	○歌 Hello Song (Unit 2) 【Let's Sing】 Ten Steps p.10	・児童と一緒に歌う。 ・歌を歌うことを通して、前時に知った1～10の数の言い方を思い出させ、次の活動につなげるようにする。	デジタル教材 教師用カード（1～20）
		One, two, three, four, five, six, seven. One, two, three, four, five, six, seven. Eight, nine, ten, eight, nine, ten. One, two, three, four, five, six, seven.  Eleven, twelve, thirteen, fourteen, fifteen, sixteen, seventeen. Eleven, twelve, thirteen, fourteen, fifteen, sixteen, seventeen. Eighteen, nineteen, twenty, eighteen, nineteen, twenty. Eleven, twelve, thirteen, fourteen, fifteen, sixteen, seventeen.	
8分	【Let's Watch and Think】 p.12 ・どの国の数の言い方を考えて、番号を口を書く。	・まず、児童用テキストの誌面にある6つの国旗から、それらがどこの国かを確認したうえで、デジタル教材の音声のみ（▶ボタン）を聞かせ、児童にそれがどの国の数の言い方を予想させる。 （上段左から China: No.2, America: No.1, Japan: No.3 下段左から India: No.5, Korea: No.4, Spain: No.6） ・その際、韓国語と中国語では、「3」の発音を「サン」と日本語に似た発音をすることや、日本語でも「4」を「し」「よん」、「7」を「しち」「なな」、「9」を「きゅう」「く」と発音するなど、さまざまな数え方があることに注目させるとよい。日本と外国の数の数え方の違いから、多様な考え方があることに気付かせるようにする。 ・次に、映像（Qボタン）を見せ、数え方の違いに気付かせるようにし、最後に回答（Aボタン）を確認する。	児童用テキスト デジタル教材
		No.1 : (英語) One, two three, four, five, six, seven, eight, nine, ten. No.2 : (中国語) Yi, er, san, si, wu, liu, qi, ba, jiu, shi. No.3 : (日本語) いち, に, さん, し, ご, ろく, しち, はち, く, じゅう。 No.4 : (韓国語) Il, I, sam, sa, o, yuk, chil, pal, ku, sip. No.5 : (ヒンディー語) Ek, do, tīn, cār, pānc, chai, sāt, āth, nau, das. No.6 : (スペイン語) Uno, dos, tres, cuatro, cinco, seis, siete, ocho, nueve, diez.	
		◎多様な考え方があることに気付いている。〈行動観察・振り返しカード分析〉	

8分	<p>○指導者が持っている物やその数を当てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者の持つ箱や袋の中にある物や、その数を推測して答える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あらかじめ箱や袋の中に鉛筆やおはじきなどを入れておく。箱を振って音を聞かせたり袋を触らせたりして、中に入っている物やその数を児童に予想させた後、入っている鉛筆などを一つずつ取り出しながら児童と一緒に数え、前回に出会った身の回りの物の言い方を思い出させるようにする。</li> <li>・最初は、10個以下の物を扱うが、慣れてきたら11個以上の物を扱い児童と一緒に数え、11以上の数の言い方に自然に出会わせる。</li> <li>・身の回りの物を数える活動から、次の児童用テキストを使った活動につなげる。</li> </ul>	<p>箱や袋 鉛筆やおはじき等の身の回りの物 1～20個</p>
8分	<p>○誌面にある身の回りの物の数を数える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル教材の画面や児童用テキスト誌面にある物の数を数える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前活動の流れから、デジタル教材の画面を見せて How many balls? などと数を尋ね、その数を予想させたうえで、児童と一緒に数えながら、11以上の数の言い方に慣れさせるようにする。</li> <li>・まず、How many ~? と尋ね、デジタル教材あるいは児童用テキストを見せた後に、画面を隠したりテキストを閉じさせたりする。その後、数を予想させる。予想が合っているかを確かめるために、再度デジタル教材あるいはテキスト誌面上で、児童と一緒に数える。</li> <li>・本活動を通して、何度も繰り返し音声を聞かせ、11以上の数の言い方に慣れさせるようにする。</li> </ul>	<p>デジタル教材 児童用テキスト</p>
8分	<p><b>【Let's Play 1】</b> p.10, 11</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おはじきゲームをする。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>おはじきゲームの進め方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童は、自分の児童用テキスト誌面にある1～20の数字から5つ程度選び、その上におはじき（または、紙片など）を置く。（おはじきの数は活動形態によって調整する）</li> <li>・指導者がランダムに数を言い、言った数の上におはじきがあれば、それを除いていく。</li> <li>・置いた5つのおはじきがなくなれば、あがりとなる。</li> </ul> <p>※1冊の児童用テキストを使って、ペアや4人グループなどで行ってもよい。（その場合は、誰のおはじきかが分かるようにすることが必要。）</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デモンストレーションを見せて、進め方を理解させる。</li> </ul> <p style="text-align: center;">◎1～20の数を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	<p>児童用テキスト デジタル教材 おはじき（または紙片など）</p>
5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。</li> </ul>	<p>振り返りカード</p>
2分	<p>○歌 <b>Goodbye Song</b> (Unit 2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌を歌い、挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童と一緒に歌い、挨拶をする。</li> </ul>	<p>デジタル教材</p>



## 3年 Unit 3—Lesson 3 How many? 数えてあそぼう 3/4時間

目 標 数を尋ねる表現に慣れ親しみ、数を尋ねたり答えたりして伝え合う。

準 備 デジタル教材、児童用テキスト、教師用カード（1～20）、タンバリンやカスタネット等、色鉛筆、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
1分	・挨拶をする。 I'm ~. How are you?	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
4分	○歌 Hello Song (Unit 2) 【Let's Sing】 Ten Steps p.10	・児童と一緒に歌う。  One, two, three, four, five, six, seven. One, two, three, four, five, six, seven. Eight, nine, ten, eight, nine, ten. One, two, three, four, five, six, seven.  Eleven, twelve, thirteen, fourteen, fifteen, sixteen, seventeen. Eleven, twelve, thirteen, fourteen, fifteen, sixteen, seventeen. Eighteen, nineteen, twenty, eighteen, nineteen, twenty. Eleven, twelve, thirteen, fourteen, fifteen, sixteen, seventeen.	デジタル教材 教師用カード（1～20）
8分	【Let's Play 2】 p.12 じゃんけんゲーム No.2（10回） ・指導者や友達とじゃんけんをして、その結果を誌面の表に記入する。 ・1回目（第1時）の結果と合わせて数を数える。	・第1時の続きで10回じゃんけんをし、How many circles / triangles / crosses? と尋ねる。 ・第1時の結果と合わせて、One? Two? …と尋ね、児童に手を挙げさせる。	児童用テキスト デジタル教材 教師用カード（1～20）
5分	○クラップ・ゲーム	・まずは一緒にやってみせながら、児童に進め方を理解させるようにする。 ・活動を通して、1～20の言い方を何度も聞いたり繰り返したりしてそれらの言い方に慣れ親しませるとともに、数の尋ね方に慣れ親しませるようにする。	デジタル教材 タンバリンやカスタネット等
		クラップ・ゲームの進め方 ・指導者がタンバリンやカスタネット等でリズムをとりながら、児童にHow many (times)? と尋ねさせ、指導者は (Clap / Stomp) five times! などと数を答える。 ・児童は、その数の分だけペアどうして数えながら手を叩いたり、足踏みをしたりする。	
		◎数を尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉	
6分	【Let's Play 3】 p.13 How many apples? クイズ ・画面に映し出される物を見て、その数を答える。 ①1種類の物が複数ある。 ②2～3種類のよく似た物がそれぞれ複数ある。	・児童の数えたいという意欲を高めるために、画面を1～3秒間だけ見せた後に、児童全員に数を予想させ、再び画面を見せて全員で数を数えて確認するといった方法もある。児童の実態に応じて工夫するとよい。 ・りんご、トマト、イチゴと、形状がよく似た物を扱っていることから、児童によっては混乱することも考えられる。児童の実態によっては、①のみにしてもよい。	児童用テキスト デジタル教材

14分	<p><b>【Activity 1】 p.13</b></p> <p>・りんごの数を尋ね合い, 同じ数のりんごを持っている友達を見つける。</p>	<p>・児童用テキスト誌面のりんご 20 個のうち, 好きな数だけ色を塗らせたうえで, 教室内を歩いて <b>How many apples?</b> と尋ね合いながら, 同じ数のりんごを持っている友達を見つけさせる。同じ数を選んだ友達を見つけたという達成感を, どの児童にも味わわせるために, 実態に応じて次のような工夫をするとよい。</p> <p>〈例〉</p> <p>※10 個は塗っておき, 10~20 個の範囲とする</p> <p>※1 回目は1~10 個, 2回目は11~20 個で行う など</p> <p>◎数を尋ねたり答えたりして伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	児童用テキスト デジタル教材 色鉛筆
5分	<p>・本時の活動を振り返り, 振り返りカードに記入する。</p>	<p>・英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。</p>	振り返りカード
2分	<p>○歌 <b>Goodbye Song</b> (Unit 2)</p> <p>・歌を歌い, 挨拶をする。</p>	<p>・挨拶をする。</p>	デジタル教材

## 3年 Unit 3-Lesson 4 How many? 数えてあそぼう 4/4時間

目 標 相手に伝わるように工夫しながら、数を尋ねたり答えたりしようとする。

準 備 デジタル教材, 児童用テキスト, 教師用カード (1~20), (漢字を書いたカード), ワークシート (Unit 3-1, 3-2), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
1分	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶をする。</li> </ul> I'm ~. How are you?	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。</li> </ul>	
12分	<p>○指導者の話から最終の活動への見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指導者の示した漢字や自分の名字、名前について画数を数える。</li> </ul> <p>○どの漢字かな。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の画数を尋ねたり、答えたりする。</li> <li>指導者に画数を尋ね、どの漢字かを予想する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>好きな漢字や指導者の名字や名前の中から選んだ漢字を見せようとして、How many strokes? One, two, three … などと指や教師用カードを示し、漢字の画数を尋ねていることを理解させて答えを促す。</li> <li>児童の名字や名前の画数についても尋ねるなどし、最終活動への見通しをもたせる。</li> <li>児童がこれまでに学習した漢字のうち、同画の漢字を2つ3組(6字)程度選び、黒板に書く。 (例) 2画: 人・力, 4画: 友・犬, 8画: 学・林</li> <li>1人の代表児童に黒板に書かれた漢字から1つ選ばせ、他の児童にはどの漢字を選んだかを予想させる。まずは指導者が How many strokes? と尋ね、その児童に答えさせる。代表児童を替えて数回繰り返す、他の児童にも一緒に尋ねるよう促す。</li> <li>児童が慣れてきたら、漢字を増やし、指導者が漢字を選び、児童だけで How many strokes? と尋ねさせたり、代表児童に児童だけで尋ねさせたりする。あるいは、ペアで行わせてもよい。</li> </ul>	児童用テキスト デジタル教材 教師用カード (1~20), (漢字を書いたカード)
5分	<p>【Let's Chant】 How many? p.13</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音声に合わせてチャンツを言う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童と一緒に言う。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>Balls, balls, how many balls?            One, two, three, four, five balls!            Strokes, strokes, how many strokes?            One, two, three, four, five strokes.            Oh, “本.” I see.</p> <p>Pencils, pencils, how many pencils?            One, two, three, four, five pencils.            Six, seven, eight, nine pencils!            Wow! So many.</p> </div>	デジタル教材
20分	<p>【Activity 2】 p.13</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート (Unit 3-1) に好きな漢字や画数を書いて紹介シートを作り、友達と好きな漢字を紹介し合う。</li> <li>やり取りして分かった友達の好きな漢字をワークシート (Unit 3-2) に書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル教材を使用したり、指導者がデモンストレーションしたりして、児童に活動の見通しをもたせる。</li> <li>1~13画程度の漢字の中で児童に好きなものを1つ選ばせ、その漢字と画数をワークシート (Unit 3-1) に、選んだ理由をワークシート (Unit 3-2) に書かせる。</li> <li>友達に画数を尋ね、友達が選んだ漢字を予想したり、答えを聞いて確かめたりする活動をさせる。</li> <li>個に応じた支援を行うとともに、相互理解の機会となるよう言葉かけをする。</li> </ul>	児童用テキスト デジタル教材 ワークシート (Unit 3-1, 3-2)

	<p>A: Hello!  B: Hello! How many strokes?  A: 7 (seven)!  B: 「助」かな?  A: No. 花。I like 花。それは～。  B: I see. (Thank you.)</p>	<p>・途中で活動を止め、前半で相手に伝わるよう工夫していたペアにやり取りを再現させ、工夫している点を学級全体で確認し、それらを生かしたやり取りを後半にさせるようにすることも考えられる。  ◎相手に伝わるように工夫しながら、数を尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	
5分	<p>・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。</p>	<p>・英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。</p>	振り返りカード
2分	<p>○歌 <b>Goodbye Song</b> (Unit 2)  ・歌を歌い、挨拶をする。</p>	<p>・挨拶をする。</p>	デジタル教材

## 3年—Unit 4

## 単元名 I like blue.

## 好きなものをつたえよう

## 1. 単元目標

- ・多様な考え方があることや、音声やリズムについて外来語を通して日本語と英語の違いに気付き、色の言い方や、好みを表したり好きかどうかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。(知識及び技能)
- ・自分の好みを伝え合う。(思考力、判断力、表現力等)
- ・相手に伝わるように工夫しながら、自分の好みを紹介しようとする。(学びに向かう力、人間性等)

## 2. 言語材料

- I like (blue). Do you like (blue)? Yes, I do. / No, I don't. I don't like (blue).
  - like, do, not, don't, too, 色 (red, blue, green, yellow, pink, black, white, orange, purple, brown), スポーツ (soccer, baseball, basketball, dodgeball, swimming), 飲食物 (ice cream, pudding, milk, orange juice), 果物・野菜 (onion, green pepper, cucumber, carrot), rainbow
- [既出] 挨拶・自己紹介, 状態・気持ち

## 3. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと (やり取り)	イ 自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。

## 4. 単元計画 (4時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (【 】, ○) 【 】, ○ = 誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	<p>◆多様な考え方があることに気付くとともに、色の言い方に慣れ親しみ、好きなものを表す表現を知る。</p> <p>○歌 Hello Song (Unit 2) 【Activity 1】 p.14, 15 ・誌面の虹を自由に塗り、自分の虹を完成させる。</p> <p>【Let's Watch and Think 1】 p.14, 15 ・映像資料で、世界の子供たちが虹を描く様子などを視聴し自分たちの作品との違いや共通点に気付く。</p> <p>○自分の虹を紹介しよう。</p> <p>○好きな色を教えて。 ・指導者の話を聞いて、好きなものを表す表現を知る。</p> <p>○歌: Goodbye Song (Unit 2)</p>	◎多様な考え方があることに気付いている。<行動観察・振り返りカード分析>
2	<p>◆外来語を通して英語の音声やリズムなど日本語との違いに気付くとともに、好みを表す表現に慣れ親しむ。</p> <p>○歌 Hello Song (Unit 2)</p> <p>○シャッフル・クイズ ・指導者が指したカードが何色かを答える。</p> <p>【Let's Listen 1】 p.16 ・誰が何色を好きかを聞いて線で結ぶ。</p> <p>【Let's Sing】 The Rainbow Song p.15</p> <p>○先生の好きなものとそうでないものを知ろう。</p> <p>【Let's Listen 2】 p.16 ・音声を聞き、登場人物の好きなスポーツとそうでないスポーツの番号を書く。</p>	◎色を聞いている。<行動観察・振り返りカード点検>  ◎好みを表す表現を聞いている。<行動観察・振り返りカード点検>

	<p><b>【Let's Chant】 I like blue. p.15</b> (スポーツ編)</p> <p>○カード・デスティニー・ゲーム</p> <p>○歌 Goodbye Song (Unit 2)</p>	<p>◎英語の音声やリズムなど日本語との違いに気付いている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎好みを表す表現を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
3	<p>◆好きかどうかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しみ、自分の好みを伝え合う。</p> <p>○歌 Hello Song (Unit 2)</p> <p><b>【Let's Sing】 The Rainbow Song p.15</b></p> <p><b>【Let's Listen 3】 p.16</b></p> <p>・会話を聞いて、登場人物の好きなものを○で囲む。(色, スポーツ, 食べ物)</p> <p><b>【Let's Watch and Think 2】 p.17</b></p> <p>・登場人物が好きかどうかを予想して○や△を記入し、Do you like ~? と尋ねる。</p> <p>○○×クイズ</p> <p>・友達に好き嫌いを尋ねる。</p> <p><b>【Let's Chant】 I like blue. p.15</b> (QA 編)</p> <p><b>【Let's Play】 p.17</b></p> <p>・友達が好き嫌いを予想してインタビューする。</p> <p>○歌 Goodbye Song (Unit 2)</p>	<p>◎好きかどうかを尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎自分の好みを伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
4	<p>◆相手に伝わるように工夫しながら自分の好みを紹介しようとする。</p> <p>○歌 Hello Song (Unit 2)</p> <p><b>【Let's Sing】 The Rainbow Song p.15</b></p> <p><b>【Let's Chant】 I like blue. p.15</b> (色編, スポーツ編, QA 編)</p> <p><b>【Activity 2】 p.17</b></p> <p>・ワークシート好きなものなどの絵を描いて、自己紹介シートを作成する。</p> <p>○自分の好みを交えて自己紹介をし合う。</p> <p>○歌 Goodbye Song (Unit 2)</p>	<p>◎相手に伝わるように工夫しながら自分の好みを紹介している。〈行動観察, 振り返りカード点検〉</p>

3年 Unit 4-Lesson 1 I like blue. すきなものをつたえよう 1/4 時間

目 標 多様な考え方があることに気付くとともに、色の言い方に慣れ親しみ、好きなものを表す表現を知る。

準 備 デジタル教材, 児童用テキスト, 教師用カード (色), 色鉛筆など, 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価方法	準備物
2分	挨拶をする。 I'm ~. How are you?	・全体に挨拶をして、個別にも挨拶をする。	
1分	○歌 Hello Song (Unit 2)	・児童と一緒に歌う。	デジタル教材
10分	<b>【Activity 1】</b> p.17 ・誌面の虹を自由に塗り、自分の虹を完成させる。	・誌面にあるさまざまなものをさし What's this? などと尋ねながら、「虹」という児童のつぶやきを拾い、「rainbow」という言葉を聞かせる。虹を見た時の様子等についても簡単に尋ねるなどして、虹を描くことに誘う。 ・自由に色を塗り、虹を完成させることを告げる。 T: Look at your textbook. Please color the rainbow. Please make your original rainbow. ・塗った色や順などを尋ね、色の言い方を何度も聞かせ、慣れ親しませるようにする。 red, light green, purple, orange, light blue, yellow, green, white, pink など。	児童用テキスト 教師用カード (色) 色鉛筆など
10分	<b>【Let's Watch and Think 1】</b> p.14 ・映像資料で、世界の子供たちが虹を描く様子などを視聴し自分たちの作品との違いや共通点に気付く。	・外国の子供たちはどのような虹を描くのか、児童の興味・関心を高めながら映像資料の視聴につなげ、自分たちの作品との違いや共通点に気付くよう言葉かけをする。 T: Please watch the video. What colors can you see in the rainbow? Are they beautiful? ・どのような色で描かれているかを児童と確認することを通して、児童に色の言い方を繰り返し聞かせたり言わせたりして、色の言い方に慣れるようにする。 ◎多様な考え方があることに気付いている。〈行動観察・振り返りカード分析〉	デジタル教材 教師用カード (色) 児童用テキスト
10分	○自分の虹を紹介しよう。	・数名の児童の虹を取り上げ、その児童と一緒に虹の色をみんなに紹介する。この活動を通して、さらに色の言い方を何度も聞かせたり言わせたりして、色の言い方に慣れ親しませる。 ・ペアで自分の虹を紹介し合うように言う。 ・どのような色が虹にあるかを全体から発表させ、その色の教師用カード (色) を黒板に掲示し、次の活動につなげる。	教師用カード (色)
5分	○好きな色を教えて。 ・指導者の話を聞いて、好きなものを表す表現を知る。 ・指導者の質問などに応じて、色を言う。	・前活動で黒板に掲示した教師用カード (色) をそのままにしておく。 ・自身の洋服などの色をさし示しながら、What color is this? Look. This is ~. I like ~. などと好きな色を紹介し、好きなものを表す表現に出会わせる。黒板に掲示してある色カードをさしながら児童に I like ~. Yes? No? などと問いかけ、発話を促す。児童の答えに応じて、児童をさして You like ~. 自身をさして I like ~. と何度も繰り返して言い、児童に I like ~. You like ~. の表現を何度も聞かせるようにする。	教師用カード (色)
5分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。	・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。	振り返りカード
2分	○歌 Goodbye Song (Unit 2) ・挨拶をする。	・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。	デジタル教材

3年 Unit 4-Lesson 2 I like blue. すきなものをつたえよう 2/4 時間
目 標 外来語を通して英語の音声やリズムなど日本語との違いに気付くとともに、好みを表す表現に慣れ親しむ。
準 備 デジタル教材, 児童用テキスト, 教師用カード (色・スポーツ), 児童用カード (色, スポーツ), 菓子箱などの具体物, 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価方法	準備物
2分	・挨拶をする。 I'm ~. How are you? ○歌 Hello Song (Unit 2)	・全体に挨拶をして、個別にも挨拶をする。 ・児童と一緒に歌う。	デジタル教材
5分	○シャッフル・クイズ ・指導者とともに色を確認する。 ・指導者がさしたカードが何色かを答える。	・自身や児童が着ている服、前時に児童が描いた虹などの色を取り上げて、児童とともに色を確認しながら、その色の教師用カード (色) を黒板に掲示していく。 Look. This is red. This is ...? Yes, that's right. This is blue.	教師用カード (色)
<p>シャッフル・クイズの進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒板に掲示した教師用カード (色) でシャッフル・クイズをすることを告げる。</li> <li>・再度児童と色を言いながら、順に色カードを裏返す。児童に入れ替えた順が分かるように2, 3回入れ替える。</li> <li>1枚のカードをさし、What color? と児童に尋ねる。児童の答えに応じて、カードを表に返し、色を確認する。</li> <li>・この活動を通して、児童に何度も色の言い方を聞かせたり、言わせたりして、慣れ親しませるとともに、Do you like ~? と尋ね、Yes, I do. No, I don't. と答えるように促す。</li> </ul> <p>T: Let's play the Shuffle Game. Look at the board. This is ...? Yes, this is pink. This is ...? Right. This is blue. Watch the cards carefully. What color is this? That's right. This is pink. I like pink. Do you like pink? Yes? No?</p>			
5分	【Let's Listen 1】 p.16 ・誰が何色が好きかを聞いて線で結ぶ。	・テキスト登場人物が何色が好きかを予想させ、それを確かめるために音声を聞かせるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 1 Hello! I'm Takeru. I like yellow. 2 Hi! I'm Sayo. I like blue. 3 Hello! My name is Robert. I like red. </div> ◎色を聞いている。〈行動観察・振り返りカード点検〉	デジタル教材 児童用テキスト
3分	【Let's Sing】 The Rainbow Song p.15 ・音声に合わせて歌う。	・まずは音声だけを聞かせて、児童に聞き取れた色を尋ねる。 ・児童と一緒に歌う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> Red and yellow and pink and green, purple and orange and blue, I can sing a rainbow, sing a rainbow, sing a rainbow, too. </div>	デジタル教材
5分	○先生の好きなものとそうでないものを知ろう。 ・指導者の好きなもの、そうでないものについての話を聞く。	・児童の好きそうなお菓子や、キャラクターのイラストなどを示しながら、自身の好きなもの、嫌いなものを I [like / don't like] ~. を使って紹介する。その際、一方的に紹介するのではなく、児童に Do you like ~? と尋ねたり、その答えに応じて You [like / don't like] ~. と返したりして、第3時につながるようにする。	菓子箱などの具体物
<p>進め方</p> <p>黒板にハート (like を表す) と割れたハート (don't like を表す) を描き、色カードや菓子箱、包装紙等を見せ、児童に Do you like ~? と尋ね、Yes? No? などとジェスチャーで示しながら手を挙げさせる。次に指導者は、それについて I [like / don't like] ~. とジェスチャーを付けて言い、児童に好きかどうかを予想させる (手を挙げさせてもよい)。最後に、ジェスチャーを交え、I [like / don't like] ~. と正解を言って、ハートや割れたハートの下に、それを表すカード等を貼る。アニメのキャラクターなどについても同様にし、I [like / don't like] ~. の表現に出会わせ、その意味を理解させるようにする。</p>			



8分	<p><b>【Let's Listen 2】</b> p.16</p> <p>・音声を聞き，登場人物の好きなスポーツとそうでないスポーツの番号を書く。</p>	<p>・登場人物の好きなスポーツやそうでないスポーツを聞いて番号を書かせる。その際，いきなり音声を聞かせて，活動させるのではなく，音声を聞かせる前に，登場人物の好みを予想させ，自身の予想が合っているかを確かめるために音声を聞くというような場面設定をする。</p> <p>T: Look at your textbook. This is 'soccer'. Do you like soccer? This is 'baseball'. Do you like baseball? Yes? Good. Please listen.</p>	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード（スポーツ）
<p>① Hi, I'm Takeru. I like soccer. I don't like baseball. ② Hello. My name is Sayo. I like basketball. I don't like swimming. ③ Hello! I'm Emily. I like swimming. I don't like dodgeball.</p>		◎好みを表す表現を聞いている。〈行動観察・振り返りカード点検〉	
2分	<p><b>【Let's Chant】</b> I like blue. p.15 (②“I like soccer”スポーツ編)</p> <p>・音声に合わせてチャンツを言う。</p>	<p>・スポーツの言い方を再度聞かせ，児童に繰り返させながら，音声の違い等に気付かせるようにする。児童に繰り返させる際には，指導者も一緒に言い，語のイントネーションを手の上下で示すなどして，音声だけではその特徴をつかみにくい児童も音声の違いに気付きやすいようにする。</p>	デジタル教材
<p>“I like soccer.”（スポーツ編） I like soccer. I like dodgeball. Ummm, I don't like baseball. I like tennis. I like basketball. Ummm, I don't like swimming.</p>		◎英語の音声やリズムなど日本語との違いに気付いている。〈行動観察・振り返りカード分析〉	
8分	<p>○カード・デスティニー・ゲーム</p>	<p>・カード・デスティニー・ゲームをすることを告げる。</p> <p>T: Let's play the Card Destiny Game. Are you ready? The first card is "red"! Who has the 'red' card? Please say, 'I like red.' or 'I don't like red.' and put the 'red' card down on your desk.</p>	児童用カード（色，スポーツ）
<p>カード・デスティニー・ゲームの進め方 ペアで行う。児童用カード（色，スポーツ）1セット分を2人で適当に分けて持つ。指導者も同じカードを持ち，その中から1枚引いて，“Soccer!”等と言う。言われたカードを持っている児童は，I [like / don't like] ～と自分の気持ちを言いながらカードを机に置く。手持ちのカードがなくなったら上がり。</p>		◎好みを表す表現を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉	
5分	<p>・本時の活動を振り返り，振り返りカードに記入する。</p>	<p>・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。</p>	振り返りカード
2分	<p>○歌 <b>Goodbye Song</b> (Unit 2)</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。</p>	デジタル教材

3年 Unit 4—Lesson 3 I like blue. すきなものをつたえよう 3/4 時間

目 標 好きかどうかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しみ、自分の好みを伝え合う。

準 備 デジタル教材, 児童用テキスト, 教師用カード (色, スポーツ, 飲食物, 野菜), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。 I'm ~. How are you? ○Hello Song (Unit 2)	・全体に挨拶をして、個別にも挨拶をする。	デジタル教材
2分	【Let's Sing】 The Rainbow Song p.15 ・音声に合わせて歌う。	・児童と一緒に歌う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">Red and yellow and pink and green, purple and orange and blue, I can sing a rainbow, sing a rainbow, sing a rainbow, too.</div>	デジタル教材
7分	【Let's Listen 3】 p.16 ・会話を聞いて、登場人物の好きなものを○で囲む。(色, スポーツ, 飲食物, 野菜)	・【Let's Listen】で扱われている色, スポーツ, 食べ物の絵カードを見せながら、それが好きか嫌いかを言い、児童にそれが好きかを尋ねる。児童に Yes?/No? とさらに尋ね、児童の答えに応じて、黒板に描いたハート、割れたハートの下にその絵カードを貼っていく。この活動を通して、Do you like ~? が好みを尋ねていることを分からせるようにする。さらに、数名の児童に Do you like ~? と絵カードを見せながら尋ね、理解を深めて【Let's Listen】につなげる。 ・登場人物が好みを尋ね合う会話を聞かせて、誌面の表に○を記入するように伝える。 T: Let's listen. Please draw a circle in the box.	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (色, スポーツ, 飲食物, 野菜)
(①と②は、会話の順どおりではなく、答えが Yes か No かに応じて、分けて示している。)			
<p>① エミリー : Do you like pudding / milk / yellow / baseball? やまと : Yes, I do. エミリー : Do you like ice cream / onions / red / green / swimming? やまと : No, I don't.</p> <p>② やまと : Do you like ice cream / milk / onions / red / swimming? エミリー : Yes, I do. やまと : Do you like pudding / green / yellow / baseball? エミリー : No, I don't. やまと : Wow, pudding! I like pudding. Emily, do you like pudding? エミリー : No, I don't, but I like ice cream. Do you like ice cream? やまと : No, I don't. I don't like ice cream, but I like milk. エミリー : Oh! Me, too. I like milk.</p>			
7分	【Let's Watch and Think 2】 p.17 ・登場人物が好きかどうかを予想して○や△を記入し、Do you like ~? と尋ねる。	・スポーツ, 食べ物等の英語を言いながら (デジタル教材を聞かせてもよい) その絵カードを黒板に掲示する。その際、児童と一緒に言うように促したり、児童の絵カードの一部を見せてそれが何かを尋ねたりするとよい。 T: What's this? A carrot? That's right. ・登場人物の好みを予想して誌面の表に○や△を記入する。画面に出ている登場人物に向かって、好きかどうかを全員で尋ね、自身の予想と合っているかどうかを確認させる。この活動を通して、Do you like ~? Yes, I do. / No, I don't. の表現に慣れ親しませるようにする。 T: Let's ask together. Do you like ~?	デジタル教材 教師用カード (色, スポーツ, 飲食物, 野菜)
8分	○○×クイズ ・友達に好き嫌いを尋ねる。	・代表の児童 (S1)を前に出す。前の活動で使用した絵カード等を使い、何について尋ねるかを S1 以外の児童と相談して決め、好みを予想する (○×を手で示すなどしてもよい)。その後、全員で Do you like ~? と代表の児童 (S1) に尋ね、予想と合っているかどうかを確認させる。	教師用カード (色, スポーツ, 飲食物, 野菜)

		<p>T: Please guess if [S1] likes blue or not. Everyone, let's ask [S1] together. ◎好きかどうかを尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	
3分	<p><b>【Let's Chant】 I like blue.</b> p.15 (QA編)</p>	<p>・児童と一緒に言う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>“Do you like soccer?” (QA編) Do you like soccer? Yes, I do. Do you like baseball? Yes, I do. Do you like swimming? No, I don't. I don't like swimming.</p> </div>	デジタル教材
9分	<p><b>【Let's Play】 p.17</b> ・友達の好き嫌いを予想してインタビューする。相手を替えて再度行う。</p>	<p>・ペアになり、誌面の表に描かれている色やスポーツなどについて、好き嫌いを予想して○×を書かせる。 ・互いに尋ね合い、予想と合っているかを確認させる。 T: Please make pairs. Guess if your partner likes this or not. Please draw a circle or a cross in the box. Please ask each other. ◎自分の好みを伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	児童用テキスト
5分	<p>・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。</p>	<p>・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。</p>	振り返りカード
2分	<p>○歌 <b>Goodbye Song</b> (Unit 2) ・挨拶をする。</p>	<p>・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。</p>	デジタル教材

3年 Unit 4-Lesson 4 I like blue. すきなものをつたえよう 4/4時間
目 標 相手に伝わるように工夫しながら自分の好みを紹介しようとする。
準 備 デジタル教材, 児童用テキスト, ワークシート (Unit 4-1), 教師用カード (色, スポーツ, 飲食物, 野菜), 色鉛筆など, 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物			
2分	・挨拶をする。 I'm ~. How are you? ○Hello Song (Unit 2)	・全体に挨拶をして, 個別にも挨拶をする。	デジタル教材			
3分	【Let's Sing】 The Rainbow Song p.15 ・音声に合わせて歌う。	・児童と一緒に歌う。  Red and yellow and pink and green, purple and orange and blue, I can sing a rainbow, sing a rainbow, sing a rainbow, too.	デジタル教材 児童用テキスト			
2分	【Let's Chant】 I like blue. p.15	・児童と一緒に言う。	デジタル教材			
<table border="1"> <tr> <td>“I like blue.” (色編) Blue, blue, I like blue. Pink, pink, I like pink. Red, red, I like red. Wow! Beautiful!</td> <td>“I like soccer.” (スポーツ編) I like soccer. I like dodgeball. Ummm, I don't like baseball. I like tennis. I like basketball. Ummm, I don't like swimming.</td> <td>“Do you like soccer.” (QA編) Do you like soccer? Yes, I do. Do you like baseball? Yes, I do. Do you like swimming? No, I don't. I don't like swimming.</td> </tr> </table>				“I like blue.” (色編) Blue, blue, I like blue. Pink, pink, I like pink. Red, red, I like red. Wow! Beautiful!	“I like soccer.” (スポーツ編) I like soccer. I like dodgeball. Ummm, I don't like baseball. I like tennis. I like basketball. Ummm, I don't like swimming.	“Do you like soccer.” (QA編) Do you like soccer? Yes, I do. Do you like baseball? Yes, I do. Do you like swimming? No, I don't. I don't like swimming.
“I like blue.” (色編) Blue, blue, I like blue. Pink, pink, I like pink. Red, red, I like red. Wow! Beautiful!	“I like soccer.” (スポーツ編) I like soccer. I like dodgeball. Ummm, I don't like baseball. I like tennis. I like basketball. Ummm, I don't like swimming.	“Do you like soccer.” (QA編) Do you like soccer? Yes, I do. Do you like baseball? Yes, I do. Do you like swimming? No, I don't. I don't like swimming.				
8分	【Activity 2】 p.17 ・ワークシート (Unit 4-1) に好きなものなどの絵を描いて, 自己紹介シートを作成する。	・好きなものや好きでないものを絵や言葉で表して, 児童1人ひとりに自己紹介シートを作成させる。 What do you like? What color do you like? Please draw your favorite things on your worksheet. ・作業するだけの時間とならないよう, 児童がワークシートに描いている間に, 個別に児童のところを回り, You like ~. That's good. Do you like ~? などと声をかけ, やり取りをするようにする。	ワークシート (Unit 4-1) 色鉛筆など			
23分	○自分の好みを交えて自己紹介をし合う。 Hello. I'm ~. I like ~. / I don't like ~. (Do you like ~?) Thank you.	・4, 5人のグループを作り, 1人ずつ自己紹介する。(学級の人数や実態に応じて形態を選ぶ) T: Please make groups of four or five. Please talk about yourselves. I'm ~. I like ~. I don't like ~. Thank you. OK? ・途中で活動をいったん止め, よい事例などをみんなの前で紹介するなど, 中間評価を行うなどして, 活動がねらいにそったものとなるようにする。 ・代表者数名に全体の前で発表させる。 ◎相手に伝わるように工夫しながら自分の好みを紹介している。<行動観察・振り返りカード点検>	デジタル教材 教師用カード (色, スポーツ, 飲食物, 野菜) ワークシート (Unit 4-1)			
5分	・本時の活動を振り返り, 振り返りカードに記入する。	・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。	振り返りカード			
2分	○歌 Goodbye Song (Unit 2) ・挨拶をする。	・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。	デジタル教材			

## 3年—Unit 5 単元名 What do you like? 何が好き?

## 1. 単元目標

- ・日本語と英語の音声の違いに気付き、身の回りの物の言い方や、何が好きかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。(知識及び技能)
- ・何が好きかを尋ねたり答えたりして伝え合う。(思考力、判断力、表現力等)
- ・相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを尋ねたり答えたりしようとする。(学びに向かう力、人間性等)

## 2. 言語材料

- What do you like? I like (tennis). What (sport) do you like? I like (soccer).
- what, color, スポーツ (sport, volleyball, table tennis), 飲食物 (food, hamburger, pizza, spaghetti, steak, salad, cake, noodle, egg, rice ball, jam), 果物・野菜 (fruit, grapes, pineapple, peach, melon, banana, kiwi fruit, lemon)  
[既出] 挨拶, Do you like (blue)? Yes, I do. / No, I don't, 数(1~20), 色, 果物・野菜, 飲食物, スポーツ

## 3. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ア ゆっくりはっきりと話された際に、自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取るようにする。
話すこと (やり取り)	ウ サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりするようにする。

## 4. 単元計画 (4時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (【 】 , ○) 【 】 = 誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	◆日本語と英語の音声の違いに気付くとともに、身の回りの物の言い方を知る。 ○指導者の話から活動への見通しをもつとともに、身の回りの物の言い方を知る。 <b>【Let's Play】</b> p.18, 19 ・おはじきゲームをする。 ○指導者の話から、何が好きかを尋ねる表現の言い方を知る。 <b>【Let's Chant】</b> What do you like? p.19 ○歌 Goodbye Song (Unit 2)	◎日本語と英語の音声の違いに気付いている。<行動観察・振り返りカード分析>
2	◆身の回りの物の言い方や、何が好きかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ○ミッシング・ゲーム <b>【Let's Listen】</b> p.20 ・音声を聞いて、それぞれの登場人物が好きなものを選んで線で結ぶ。 <b>【Let's Chant】</b> What do you like? p.19 <b>【Let's Watch and Think】</b> p.21 ・登場人物の好きなものを予想し、尋ねる。 ○ペアで尋ね合おう。 ・ペアで互いに好きなものを尋ねたり答えたりする。 ○歌 Goodbye Song (Unit 2)	◎身の回りの物の言い方を聞いている。<行動観察・誌面点検・振り返りカード点検>  ◎何が好きかを尋ねたり答えたりしている。<行動観察・振り返りカード点検>
3	◆何が好きかを尋ねたり答えたりして伝え合う。 <b>【Let's Chant】</b> What do you like? p.19 ・音声に合わせてチャンツを言う。 ○ステレオ・ゲーム	

	<p><b>【Activity 1】</b> p.20</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の好きなもの(食べ物, 色, スポーツ)を予想して尋ね合う。</li> </ul> <p><b>【Activity 2】</b> p.21</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次時に行う活動で food, color 以外にどのようなカテゴリーについて尋ねるかを考え, 発表する。</li> </ul> <p>○歌 <b>Goodbye Song</b> (Unit 2)</p>	<p>◎何が好きかを尋ねたり答えたりして伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
4	<p>◆相手に伝わるように工夫しながら, 何が好きかを尋ねたり答えたりしようとする。</p> <p><b>【Let's Chant】</b> What do you like? p.19</p> <p><b>【Activity 2】</b> p.21</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達に好きなものを尋ねたり答えたりしてインタビューする。</li> </ul> <p>○Who am I? クイズ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・好きなものを聞いて, それが誰かを当てる。</li> </ul> <p>○歌 <b>Goodbye Song</b> (Unit 2)</p>	<p>◎相手に伝わるように工夫しながら好きなものを尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>

## 3年 Unit 5-Lesson 1 What do you like? 何が好き? 1/4時間

目 標 日本語と英語の音声の違いに気付くとともに、身の回りの物の言い方を知る。

準 備 デジタル教材, 児童用テキスト, 教師用カード (食べ物, 果物, スポーツ, 色など), おはじき (各児童5個程度), パペットなど, 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。 I'm ~. How are you?	・全体に挨拶をし, 個別に数名の児童に挨拶をする。	
13分	○指導者の話から活動への見通しをもつとともに, 身の回りの物の言い方を知る。	<p>・本日の給食の話題から, どのような食べ物が好きかについて児童とやり取りをする。</p> <p>I like pizza. Do you like pizza? などと誌面の食べ物をまず取り上げ, 果物やスポーツなど好きなものについて, 児童を巻き込みながら話をする。児童にも好きなものを尋ねるなどして, 活動への興味付けを図る。</p> <p>例: I'm hungry. Are you hungry? Look, today's lunch menu is .... Do you like (給食のメニュー)? I like it very much. How about pizza? Do you like pizza? I like pizza. I like cheese. Do you like cheese? Look at pages 18 and 19 of your textbooks. What can you find? Oh, apples. Do you like apples?</p> <p>・日本語と英語の音声の違いに児童が気付けるように配慮しながら, 身の回りの物を表す言葉に出会わせる。例えば, 児童にオレンジと言わせた後, その英語での言い方をデジタルで聞かせるなどする。その際に, 「オレンジ」の場合には, 手をフラットに移動させる, 「orange」の場合には, oの音の時には手を上げrangeで下げるなどして, 英語にはイントネーションがあることを目で見て分かるようにすることも工夫の1つである。</p> <p>◎日本語と英語の音声の違いに気付いている。〈行動観察・振り返りカード分析〉</p>	児童用テキスト デジタル教材 教師用カード (食べ物, 果物, スポーツなど)
8分	<p><b>【Let's Play】</b> p.18, 19</p> <p>・おはじきゲームをする。</p> <p>・5つ程度誌面の絵を選び, その上におはじきを置く。指導者が言った言葉の上におはじきがあれば, それを取る。</p>	<p>・デモンストレーションで活動の方法を理解させる。</p> <p>・何度も繰り返し聞かせて音声に慣れ親しませるようにする。その際, 日本語と英語の音声の違いについても, 体験的に感じ取らせるようにする。</p>	児童用テキスト デジタル教材 教師用カード (食べ物, 果物, スポーツ, 色など) おはじき (各児童5個程度)
10分	○指導者の話から, 何が好きかを尋ねる表現の言い方を知る。	<p>・ALT等がいれば, 指導者と2人で以下のような会話をし, 児童に What ~ do you like? の意味を場面から推測させるようにする。いない場合は, 事前に校内の教員に協力してもらい, No, I don't.と繰り返し答えている様子, 最後に I like baseball / curry and rice / milk / blue. などと答えている様子をあら</p>	デジタル教材 教師用カード (食べ物, 果物, スポーツ, 色など) パペットなど

		<p>はじめビデオに撮っておく。あるいは、指導者がパペットをもって1人2役をするとよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全体に What food / fruit / sport / color do you like?と尋ねた後、数名の児童に個別に尋ね、I like ~.と答えるよう促す。</li> </ul>					
	<p>指導者: Hi, I want to get some exercise A: OK. 指導者: Let's play dodgeball. Do you like dodgeball? A: Sorry, no, I don't. 指導者: That's OK. How about volleyball. Do you like volleyball? A: Sorry, no, I don't 指導者: I see. How about table tennis? Do you like table tennis? A: Sorry, no, I don't. 指導者: Ummm... What sport do you like? A: I like baseball! 指導者: Good. I like baseball, too. Let's play catch. A: Yes, let's.</p>						
5分	<p><b>【Let's Chant】 What do you like?</b> p.19 ・音声に合わせてチャンツを言う。</p>	<p>・最初は、途中で止めながら音声だけ聞かせて聞こえた英語を言わせるなどして児童の興味を引く。チャンツは、①色、②果物、③食べ物の3種類のバージョンがある。児童の実態に応じて、選択したり、複数のチャンツに挑戦したりするとよい。</p>	デジタル教材 教師用カード (色, 果物, 食べ物)				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>(色編)</p> <p>What color do you like? What color do you like? I like red. I like blue. I like red and blue. What color do you like? What color do you like? I like green. I like yellow. I like green and yellow. Wow! Nice T-shirt!</p> </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>(果物編)</p> <p>What fruit do you like? What fruit do you like? I like apples. I like grapes. I like apples and grapes What fruit do you like? What fruit do you like? I like oranges. I like peaches. I like oranges and peaches. Wow! Nice parfait!</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="padding: 5px;"> <p>(食べ物編)</p> <p>What food do you like? What food do you like? I like <i>sushi</i>. I like ice cream. I like <i>sushi</i> and ice cream. What food do you like? What food do you like? I like pizza. I like hamburgers. I like pizza and hamburgers. Wow! Nice party!</p> </td> </tr> </table>				<p>(色編)</p> <p>What color do you like? What color do you like? I like red. I like blue. I like red and blue. What color do you like? What color do you like? I like green. I like yellow. I like green and yellow. Wow! Nice T-shirt!</p>	<p>(果物編)</p> <p>What fruit do you like? What fruit do you like? I like apples. I like grapes. I like apples and grapes What fruit do you like? What fruit do you like? I like oranges. I like peaches. I like oranges and peaches. Wow! Nice parfait!</p>	<p>(食べ物編)</p> <p>What food do you like? What food do you like? I like <i>sushi</i>. I like ice cream. I like <i>sushi</i> and ice cream. What food do you like? What food do you like? I like pizza. I like hamburgers. I like pizza and hamburgers. Wow! Nice party!</p>	
<p>(色編)</p> <p>What color do you like? What color do you like? I like red. I like blue. I like red and blue. What color do you like? What color do you like? I like green. I like yellow. I like green and yellow. Wow! Nice T-shirt!</p>	<p>(果物編)</p> <p>What fruit do you like? What fruit do you like? I like apples. I like grapes. I like apples and grapes What fruit do you like? What fruit do you like? I like oranges. I like peaches. I like oranges and peaches. Wow! Nice parfait!</p>						
<p>(食べ物編)</p> <p>What food do you like? What food do you like? I like <i>sushi</i>. I like ice cream. I like <i>sushi</i> and ice cream. What food do you like? What food do you like? I like pizza. I like hamburgers. I like pizza and hamburgers. Wow! Nice party!</p>							
5分	<p>・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。</p>	<p>・英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。</p>	振り返りカード				
2分	<p>○歌 <b>Goodbye Song</b> (Unit 2) ・挨拶をする。</p>	<p>・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。</p>	デジタル教材				



## 3年 Unit 5-Lesson 2 What do you like? 何がすき? 2/4時間

目 標 身の回りの物の言い方や、何が好きかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

準 備 デジタル教材, 児童用テキスト, 教師用カード (食べ物, 果物, スポーツなど), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価方法	準備物		
2分	・挨拶をする。 I'm ~. How are you?	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。			
10分	○ミッシング・ゲーム	・I like ~. Do you like ~? What food / fruit / sport do you like? などと児童とやり取りをしながら前時の食べ物などの絵カードを黒板に掲示し、その言い方を思い出させた後、ミッシング・ゲームをすることを告げる。	教師用カード (食べ物, 果物, スポーツなど)		
<p><b>ミッシング・ゲームの進め方</b></p> <p>・黒板に1～10枚の絵カードを掲示し、児童と身の回りの物の言い方を確認する。全てのカードを外し、その中からカードを1枚除く。取り除いたカード以外を再度黒板に掲示しながら、その言い方を児童と一緒に繰り返して言う。最後に黒板にないカードを言わせるゲーム。隠す数は1枚から始め4枚程度 (実態に応じて) まで。児童に目を閉じさせてカードを抜いたり、数名の児童に絵カードを持たせたりする方法もある。</p>					
8分	<p><b>【Let's Listen】 p.20</b></p> <p>・音声を聞いて、それぞれの登場人物が好きなものを選んで線で結ぶ。</p>	<p>・それぞれの登場人物が、何が好きそうかを予想させてから、その予想があっているかを確認するためにデジタル教材で音声を聞かせるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>1 先生 : Hello, Sayo. What sport do you like? さよ : I like basketball. 先生 : What food do you like? さよ : I like oranges.</p> <p>2 先生 : Hi, Takeru. What sport do you like? たける : I like dodgeball. 先生 : What food do you like? たける : I like strawberries.</p> <p>3 先生 : Hello, Robert. What sport do you like? ロバート : I like soccer. 先生 : What food do you like? ロバート : I like tomatoes.</p> </div> <p>◎身の回りの物の言い方を聞いている。〈行動観察・誌面点検・振り返りカード点検〉</p>	教師用カード (食べ物, 果物, スポーツなど) デジタル教材 児童用テキスト		
4分	<p><b>【Let's Chant】 What do you like? p.19</b></p> <p>・音声に合わせてチャンツを言う。</p>	・児童と一緒に言う。	デジタル教材		
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top; padding: 5px;"> <p>(色編)</p> <p>What color do you like? What color do you like? I like red. I like blue. I like red and blue.</p> <p>What color do you like? What color do you like? I like green. I like yellow. I like green and yellow.</p> <p>Wow! Nice T-shirt!</p> <p>(食べ物編)</p> <p>What food do you like? What food do you like? I like <i>sushi</i>. I like ice cream. I like <i>sushi</i> and ice cream.</p> <p>What food do you like? What food do you like? I like pizza. I like hamburgers. I like pizza and hamburgers.</p> <p>Wow! Nice party!</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top; padding: 5px;"> <p>(果物編)</p> <p>What fruit do you like? What fruit do you like? I like apples. I like grapes. I like apples and grapes.</p> <p>What fruit do you like? What fruit do you like? I like oranges. I like peaches. I like oranges and peaches.</p> <p>Wow! Nice parfait!</p> </td> </tr> </table>				<p>(色編)</p> <p>What color do you like? What color do you like? I like red. I like blue. I like red and blue.</p> <p>What color do you like? What color do you like? I like green. I like yellow. I like green and yellow.</p> <p>Wow! Nice T-shirt!</p> <p>(食べ物編)</p> <p>What food do you like? What food do you like? I like <i>sushi</i>. I like ice cream. I like <i>sushi</i> and ice cream.</p> <p>What food do you like? What food do you like? I like pizza. I like hamburgers. I like pizza and hamburgers.</p> <p>Wow! Nice party!</p>	<p>(果物編)</p> <p>What fruit do you like? What fruit do you like? I like apples. I like grapes. I like apples and grapes.</p> <p>What fruit do you like? What fruit do you like? I like oranges. I like peaches. I like oranges and peaches.</p> <p>Wow! Nice parfait!</p>
<p>(色編)</p> <p>What color do you like? What color do you like? I like red. I like blue. I like red and blue.</p> <p>What color do you like? What color do you like? I like green. I like yellow. I like green and yellow.</p> <p>Wow! Nice T-shirt!</p> <p>(食べ物編)</p> <p>What food do you like? What food do you like? I like <i>sushi</i>. I like ice cream. I like <i>sushi</i> and ice cream.</p> <p>What food do you like? What food do you like? I like pizza. I like hamburgers. I like pizza and hamburgers.</p> <p>Wow! Nice party!</p>	<p>(果物編)</p> <p>What fruit do you like? What fruit do you like? I like apples. I like grapes. I like apples and grapes.</p> <p>What fruit do you like? What fruit do you like? I like oranges. I like peaches. I like oranges and peaches.</p> <p>Wow! Nice parfait!</p>				

8分	<p><b>【Let's Watch and Think】</b> p.21</p> <p>・登場人物の好きなものを予想し、尋ねる。最後に画面で答えを確認する。</p>	<p>・映像は、登場人物の子供2人がやり取りする内容である。1人が <b>Do you like ~?</b> で質問し、もう1人が <b>No, I don't.</b> で答えるやり取りが複数回繰り返され、その後 <b>What do you like? I like ~.</b> というやり取りがなされる。</p> <p>・本活動は、2人が <b>Do you like ~? No, I don't.</b> で対話をし終わったところで、児童が映像の中の子供に <b>What do you like?</b> と尋ね、映像の中の子供がその問いに <b>I like ~.</b> で答えるという、映像の中の子供と児童との対話を想定している。</p> <p>・そこで、以下の流れで行う。</p> <p>①デジタル教材の「通し視聴」の上にある2つのビデオマークのうち、左のマークをクリックして、<b>Do you like ~? No, I don't.</b> のやり取りの対話を視聴させる。</p> <p>②登場人物の (<b>No, I don't.</b>と答えた) 子供が好きなものを児童に予想させる。</p> <p>③デジタル教材で、右のマークをクリックして、児童と一緒に <b>What do you like?</b> と尋ねさせる。映像の中の子供が <b>I like ~.</b> で答える。</p> <p>・児童に <b>What do you like?</b> と <b>I like ~.</b> の表現に慣れ親しませることがねらいである。</p>	デジタル教材 児童用テキスト
8分	<p><b>○ペアで尋ね合おう。</b></p> <p>・ペアで互いに好きなものを尋ねたり答えたりする。</p>	<p>・単元終末に、インタビュー結果をもとに <b>Who am I?</b> クイズをすることを告げる。そのクイズに答えられるようにできるだけたくさんの友達の情報を集めるとよいことを伝える。どのようなカテゴリーを尋ねたいかを児童に発表させる。児童の実態に応じて、そのうちのいくつかを選択する。</p> <p>・まずは、隣どうしでどのようなものが好きかを尋ね合い、予想を立てるヒントを得るために、隣どうしで尋ね合うよう告げる。</p> <p>・児童の様子を見ながら、必要に応じて児童のそばで一緒に言うなどして支援をする。</p> <p>◎何が好きかを尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	児童用テキスト
3分	<p>・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。</p>	<p>・英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。</p>	振り返りカード
2分	<p><b>○歌 Goodbye Song (Unit 2)</b></p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・児童と一緒に歌う。</p> <p>・挨拶をする。</p>	デジタル教材

## 3年 Unit 5-Lesson 3 What do you like? 何が好き? 3/4時間

目 標 何が好きかを尋ねたり答えたりして伝え合う。

準 備 デジタル教材, 児童用テキスト, 教師用カード (食べ物, 果物, スポーツ, 数字, 色など), 児童用カード, 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。I'm ~. How are you?	・全体に挨拶をし, 個別に数名の児童に挨拶をする。	
4分	<p><b>【Let's Chant】 What do you like?</b> p.19 ・音声に合わせてチャンツを言う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(色編) What color do you like? What color do you like? I like red. I like blue. I like red and blue. What color do you like? What color do you like? I like green. I like yellow. I like green and yellow. Wow! Nice T-shirt!</p> <p>(果物編) What fruit do you like? What fruit do you like? I like apples. I like grapes. I like apples and grapes. What fruit do you like? What fruit do you like? I like oranges. I like peaches. I like oranges and peaches. Wow! Nice parfait!</p> <p>(食べ物編) What food do you like? What food do you like? I like <i>sushi</i>. I like ice cream. I like <i>sushi</i> and ice cream. What food do you like? What food do you like? I like pizza. I like hamburgers. I like pizza and hamburgers. Wow! Nice party!</p> </div>	・児童と一緒に言う。	デジタル教材
10分	<p>○ステレオ・ゲーム What ~ do you like? I like ~.</p>	<p>・ステレオ・ゲームをすることを告げる。この活動を通して, 何が好きかと尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しませるようにする。</p> <p>・また, これまでは <b>food, fruit, sport</b> のカテゴリで好きなものは何かを尋ねてきたが, ここではカテゴリを増やし, これまでに児童が慣れ親しんでいる数字 (1~20), 色などのカテゴリも扱う。</p>	教師用カード (食べ物, 果物, スポーツ, 数字, 色など)
<p><b>ステレオゲームの進め方</b></p> <p>・ <b>sport, fruit, food, color</b> などのカテゴリから1つを決め, 代表児童3~4名が, それぞれの好きなものを教師用カードから選び, 他の児童に見えないように隠して持ち, 教室の前に出て1列に並ぶ。ほかの児童全員で, <b>What ~ do you like?</b>と尋ね, 代表児童は, 同時に, <b>I like ~.</b>と自分の好きなものを答える。ほかの児童がそれを聞いて, 誰が何と言ったかを当てるゲーム。</p>			

15分	<p><b>【Activity 1】</b> p.20</p> <p>・友達の好きなもの(食べ物, 色, スポーツ)を予想して尋ね合う。</p>	<p>・普段の様子から友達の好きな「食べ物」「色」「スポーツ」を予想させたうえで, 好きなものを尋ね合わせる。(隣や前後, 斜めの席の児童どうしで行う)</p> <p>・次時の Activity 2 につながる活動であり, 児童が自信をもってできるよう支援を行う。</p>	児童用テキスト		
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>例1</p> <p>あやめ : Hi. Ren. What fruit do you like? れん : I like strawberries. あやめ : What color do you like? れん : I like yellow and green. あやめ : What sport do you like? れん : I like swimming. あやめ : Swimming? Me, too. Thank you.</p> </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>例2</p> <p>れん : Hello, Ayame. What fruit do you like? あやめ : I like bananas. れん : Oh, nice. What color do you like? あやめ : I like blue. れん : I see. What sport do you like? あやめ : I like volleyball and swimming. れん : Thank you.</p> </td> </tr> </table>				<p>例1</p> <p>あやめ : Hi. Ren. What fruit do you like? れん : I like strawberries. あやめ : What color do you like? れん : I like yellow and green. あやめ : What sport do you like? れん : I like swimming. あやめ : Swimming? Me, too. Thank you.</p>	<p>例2</p> <p>れん : Hello, Ayame. What fruit do you like? あやめ : I like bananas. れん : Oh, nice. What color do you like? あやめ : I like blue. れん : I see. What sport do you like? あやめ : I like volleyball and swimming. れん : Thank you.</p>
<p>例1</p> <p>あやめ : Hi. Ren. What fruit do you like? れん : I like strawberries. あやめ : What color do you like? れん : I like yellow and green. あやめ : What sport do you like? れん : I like swimming. あやめ : Swimming? Me, too. Thank you.</p>	<p>例2</p> <p>れん : Hello, Ayame. What fruit do you like? あやめ : I like bananas. れん : Oh, nice. What color do you like? あやめ : I like blue. れん : I see. What sport do you like? あやめ : I like volleyball and swimming. れん : Thank you.</p>				
		◎何が好きかを尋ねたり答えたりして伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉			
7分	<p><b>【Activity 2】</b> 友達が何が好きかを尋ね合おう。 p.21</p> <p>・次時に行う活動で food, color 以外にどのようなカテゴリーについて尋ねるかを考え, 発表する。</p>	<p>・次時に, food, color 以外に調べたいカテゴリーを児童に尋ね, 発表させる。</p> <p>・また, そのカテゴリーについて何が好きかを, 指導者が数名の児童に尋ね, 次時の活動につなげるようにする。</p>	児童用テキスト		
5分	<p>・本時の活動を振り返り, 振り返りカードに記入する。</p>	<p>・英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。</p>	振り返りカード		
2分	<p>○歌 <b>Goodbye Song</b> (Unit 2)</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・児童と一緒に歌う。</p> <p>・挨拶をする。</p>	デジタル教材		

## 3年 Unit 5—Lesson 4 What do you like? 何が好き? 4/4時間

目 標 相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを尋ねたり答えたりしようとする。

準 備 デジタル教材, 児童用テキスト, ワークシート (Unit 5-1), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物				
2分	・挨拶をする。I'm ~. How are you?	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。					
4分	<b>【Let's Chant】 What do you like?</b> p.19 ・音声に合わせてチャンツを言う。	・児童と一緒に言う。	デジタル教材				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;">           (色編)            What color do you like? What color do you like?            I like red. I like blue. I like red and blue.            What color do you like? What color do you like?            I like green. I like yellow. I like green and yellow.            Wow! Nice T-shirt!         </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;">           (果物編)            What fruit do you like? What fruit do you like?            I like apples. I like grapes. I like apples and grapes            What fruit do you like? What fruit do you like?            I like oranges. I like peaches. I like oranges and peaches.            Wow! Nice parfait!         </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="padding: 5px;">           (食べ物編)            What food do you like? What food do you like?            I like <i>sushi</i>. I like ice cream. I like <i>sushi</i> and ice cream.            What food do you like? What food do you like?            I like pizza. I like hamburgers. I like pizza and hamburgers.            Wow! Nice party!         </td> </tr> </table>				(色編) What color do you like? What color do you like? I like red. I like blue. I like red and blue. What color do you like? What color do you like? I like green. I like yellow. I like green and yellow. Wow! Nice T-shirt!	(果物編) What fruit do you like? What fruit do you like? I like apples. I like grapes. I like apples and grapes What fruit do you like? What fruit do you like? I like oranges. I like peaches. I like oranges and peaches. Wow! Nice parfait!	(食べ物編) What food do you like? What food do you like? I like <i>sushi</i> . I like ice cream. I like <i>sushi</i> and ice cream. What food do you like? What food do you like? I like pizza. I like hamburgers. I like pizza and hamburgers. Wow! Nice party!	
(色編) What color do you like? What color do you like? I like red. I like blue. I like red and blue. What color do you like? What color do you like? I like green. I like yellow. I like green and yellow. Wow! Nice T-shirt!	(果物編) What fruit do you like? What fruit do you like? I like apples. I like grapes. I like apples and grapes What fruit do you like? What fruit do you like? I like oranges. I like peaches. I like oranges and peaches. Wow! Nice parfait!						
(食べ物編) What food do you like? What food do you like? I like <i>sushi</i> . I like ice cream. I like <i>sushi</i> and ice cream. What food do you like? What food do you like? I like pizza. I like hamburgers. I like pizza and hamburgers. Wow! Nice party!							
20分	<b>【Activity 2】 p.21</b> ・友達に好きなものを尋ねたり答えたりしてインタビューする。  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <b>やり取りの例</b>            A: Hello!            B: Hello!            A: What ~ do you like?            B: I like ~.            A: I see. Thank you.            B: Thank you. See you.         </div>	・まず自分の好きなものを絵や言葉で記入し、色や食べ物以外に尋ねたいものがあれば決めさせ、インタビューを自由に行わせる。 ・途中で活動をいったん止め、よい事例などをみんなの前で紹介するなど、中間評価を行うなどして、活動がねらいに沿ったものとなるようにする。それを後半に意識して行うことで、後半の活動がより相手を意識したものになるようにする。 ・指導者も活動に加わりながら、必要に応じて支援をする。 ◎相手に伝わるように工夫しながら好きなものを尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉	デジタル教材 児童用テキスト ワークシート (Unit 5-1)				
12分	<b>○Who am I?クイズ</b> ・好きなものを聞いて、それが誰かを考えて答える。	・インタビュー結果をもとに、指導者が「ある児童」になりきって、I like ~. I don't like ~. などと好きなものを紹介し、誰のことかを考えて答えさせる。児童どうしの相互理解を一層深め、学級の仲間づくりにつながるようにする。	児童用テキスト				
5分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。	・英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。	振り返りカード				
2分	<b>○歌 Goodbye Song (Unit 2)</b> ・挨拶をする。	・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。	デジタル教材				

## 3年－Unit 6 単元名 ALPHABET アルファベットとなかよし

## 1. 単元目標

- ・身の回りには活字体の文字で表されているものがあることに気づき、活字体の大文字とその読み方に慣れ親しむ。(知識及び技能)
- ・自分の姓名の頭文字を伝え合う。(思考力、判断力、表現力等)
- ・相手に伝わるように工夫しながら、自分の姓名の頭文字を伝えようとする。(学びに向かう力、人間性等)

## 2. 言語材料

- (The “A” card), please, Here you are, Thank you, You’re welcome.
- 大文字 (A～Z), the, card, alphabet, please, here, thank, welcome, 数 (21～30, 0), book, drum, fish, gorilla, hat, ink, jet, king, monkey, notebook, pig, queen, rabbit, sun, tree, umbrella, violin, watch, box, yacht
- [既出] 挨拶, you, are, 数 (1～20), apple, crayon, egg, lemon, orange

## 3. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ウ 文字の読み方が発音されるのを聞いた際に、どの文字であるかが分かるようにする。
話すこと (発表)	イ 自分のことについて、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。

## 4. 単元計画 (4時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (【 】 , ○) 【 】 = 誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	<p>◆身の回りにはアルファベットの文字で表されているものがあることに気付くとともに、活字体の大文字の読み方を知る。</p> <p>【Let's Watch and Think】 p.22, 23</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・映像資料を視聴して、アルファベットの様々な表示を見て何を表しているかを考える。</li> </ul> <p>○誌面の中に隠れているアルファベットの大文字を見つけよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵の中に隠れているアルファベットの大文字を見つめる。</li> </ul> <p>【Let's Sing】 ABC Song p.23</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ポインティング・ゲーム (A～M)</li> <li>○歌 Goodbye Song (Unit 2)</li> </ul>	◎身の回りにはアルファベットの大文字で表されているものがあることに気付いている。<行動観察・振り返りカード分析>
2	<p>◆活字体の大文字とその読み方に慣れ親しむ。</p> <p>【Let's Sing】 ABC Song p.23</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○何の文字か当てよう。</li> <li>・指導者が提示するアルファベットの大文字を見て、それが何か当てる。</li> <li>○文字を並べよう。</li> <li>・児童用巻末アルファベットカード (A～M) を A から順に並べる。</li> <li>○ポインティング・ゲーム (N～Z)</li> <li>○線つなぎ</li> </ul>	◎活字体の大文字の読み方を聞いたり

	<p>・指導者が言う大文字の読み方の順に、その文字を線でつないでいく。</p> <p>○身の回りの物の中からアルファベットを探そう。</p> <p>○歌 <b>Goodbye Song</b> (Unit 2)</p>	<p>言ったりして文字と一致させている。 〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
3	<p>◆活字体の大文字とその読み方に慣れ親しむ。</p> <p><b>【Let's Sing】ABC Song</b> p.23</p> <p>○ビンゴ・ゲーム</p> <p><b>【Let's Play】</b> p.24</p> <p>・アルファベットの文字の形に着目して自由に仲間分けする。</p> <p>○アルファベットの文字を集めよう。</p> <p>○歌 <b>Goodbye Song</b> (Unit 2)</p>	<p>◎活字体の大文字の読み方を聞いたり言ったりして文字と一致させている。 〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎活字体の大文字の読み方を聞いたり言ったりして文字と一致させている。 〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
4	<p>◆相手に伝わるように工夫しながら、自分の姓名の頭文字を伝えようとする。</p> <p><b>【Let's Sing】ABC Song</b> p.23</p> <p>○アルファベット並べゲーム</p> <p>・友達と協力し合って、アルファベットカードを順に並べる。</p> <p><b>【Activity】</b> p.25</p> <p>・自分の姓名の頭文字を集めてイニシャルカードを作成する。</p> <p>・自分の姓名の頭文字を紹介する。</p> <p>○歌 <b>Goodbye Song</b> (Unit 2)</p>	<p>◎自分の姓名の頭文字を伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎相手に伝わるように工夫しながら、自分の姓名の頭文字を伝えている。 〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>

## 3年 Unit 6—Lesson 1 ALPHABET アルファベットとなかよし 1/4 時間

目 標 身の回りにはアルファベットの文字で表されているものがあることに気付くとともに、活字体の大文字の読み方を知る。

準 備 デジタル教材、児童用テキスト、教師用カード（大文字）、児童用カード（大文字）、写真等、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。I'm ~. How are you?	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
8分	<p><b>【Let's Watch and Think】</b> p.22, 23</p> <p>・映像資料を視聴して、アルファベットの様々な表示を見て何を表しているかを考える。</p> <p>Let's take a trip around the town. Can you see any letters of the alphabet? What can we find?</p>	<p>・映像資料の町の中、または、指導者が用意した写真（駐車場の「P」や鉛筆の「2B」、店の看板など児童がよく目にしているもの）、テキストの誌面などから、児童が知っている表示を挙げさせ、それぞれが何を表しているかについて考えさせながら、「アルファベット」という文字と、その名称に出会わせる。</p> <p>・教師用カード（大文字）を黒板に掲示して、次の活動につなげる。</p>	写真等 デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード（大文字）
10分	<p>○誌面の中に隠れているアルファベットの大文字を見つけよう。</p> <p>・絵の中に隠れているアルファベットの文字を見つける。</p> <p>・身の回りからアルファベットの大文字を探して発表する。</p>	<p>・黒板に掲示したアルファベットの大文字を、誌面から探させ、児童の答えに応じて、さらにアルファベットの文字の読み方（名称）を何度も聞かせ、文字と名称が一致するようにする。</p> <p>・誌面の町の絵の中からアルファベットの大文字を見つけさせ、デジタル教材でその読み方を再度確認する。</p> <p>・身の回りからアルファベットの大文字を探させる。</p>	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード（大文字）
	<p>ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ</p> <p>apple, book, crayon, drum, egg, fish, gorilla, hat, ink, jet, king, lemon, monkey, notebook, orange, pig, queen, rabbit, sun, tree, umbrella, violin, watch, box, yacht, zero</p>		
		◎身の回りにはアルファベットの大文字で表されているものがあることに気付いている。〈行動観察・振り返りカード分析〉	
5分	<p><b>【Let's Sing】 ABC Song</b> p.23</p> <p>・音声に合わせて歌う。</p>	・音声教材を聞かせ、アルファベット順に黒板に掲示した教師用カード（大文字）をさし示しながら、一緒に歌う。慣れたら、少しずつスピードを速め、楽しく歌わせる。	デジタル教材 教師用カード（大文字）
13分	<p>○ポインティング・ゲーム（A～M）</p> <p>・言われた文字を指でさす。</p> <p>①ペアで行う。</p> <p>②個人で行う。</p>	<p>・ポインティング・ゲームをすることを告げる。児童用巻末アルファベットカード（A～M:カードは切り離さない）のページを使用して行う。指導者は、アルファベットの名称を言い、児童にその文字を指さすように言う。</p> <p>・最初はペアで、1枚のページで行う。慣れてきたら、1人1枚のページで行わせる。</p> <p>・次時まで、アルファベットの大文字A～Mカードを切り離しておくように伝える。</p>	教師用カード（大文字） 児童用テキスト
5分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。	・児童の気付きや本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。	振り返りカード
2分	<p>○歌 <b>Goodbye Song</b> (Unit 2)</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・児童と一緒に歌う。</p> <p>・挨拶をする。</p>	デジタル教材



## 3年 Unit 6—Lesson 2 ALPHABET アルファベットとなかよし 2/4 時間

目 標 活字体の大文字とその読み方に慣れ親しむ。

準 備 デジタル教材, 児童用テキスト, 教師用カード (大文字), 児童用カード (大文字), ワークシート (Unit 6-1~6-5), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。I'm ~. How are you?	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
3分	<b>【Let's Sing】ABC Song p.23</b> ・音声に合わせて歌う。	・児童と一緒に歌う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">             A, B, C, D, E, F, G, H, I, J, K, L, M, N, O, P, Q, R, S, T, U, V, W, X, Y, Z. Happy, happy, I'm happy. I can sing my ABC.           </div>	デジタル教材 児童用テキスト
15分	<b>○何の文字かな。</b> ・指導者が提示するアルファベットの大文字を見て、それが何か考えて答える。 <b>○文字を並べよう。</b> ・児童用カード (A~M) を A から順に並べる。 <b>※体でアルファベットを作ろう。</b> ・友達と協力してアルファベットを体で表す。	・指導者は、教師用アルファベットカードを一瞬見せたり、黒板に大きくアルファベットの大文字をゆっくり書いたりしながら <b>What's this (letter)?</b> と尋ね、アルファベットの名称の言い方を思い出させる。 ・本時までには切り離しておいた児童用巻末アルファベットカード (A~M) を A から順に並べるように言い、必要に応じて支援をする。 ※上記2つの活動の代わりに、児童の実態に応じて、「体でアルファベットの大文字を作ろう」をすることも考えられる。	教師用カード (大文字) 児童用カード (大文字)
<b>進め方</b> ・まず、指導者が体でアルファベットの大文字を表し、 <b>What's this (letter)?</b> などと児童に尋ね、活動への意欲付けを図るとよい。 ・4人程度のグループか、学級全体で行う。学級の人数により形態を配慮する。 ・比較的、体で形を捉え易いアルファベットを事前に選び (A, C, E, F, H, I, J, K, M, P, T, V, Y など) 2~3 ずつ封筒に入れたものをグループの代表者に引かせるなどする。 ・グループごとに協力して体で文字を作って披露し、他のグループが何の文字か考えて答える。			
8分	<b>○ポインティング・ゲーム (N~Z)</b> ①ペアで行う。 ②個人で行う。	・ポインティング・ゲームを前回と同じ進め方で行う。指導者は、 <b>Point to the letter 'N'.</b> などと言う。 ・次時までには、アルファベットの大文字 N~Z カードを切り離しておくように伝える。	教師用カード (大文字) 児童用テキスト
5分	<b>○線つなぎ</b> ・指導者が言う大文字の読み方の順に、その文字を線をつないでいく。	・A から Z までの読み方 (名称) を確認した後、アルファベットの読み方を言い、そのアルファベットの文字をつないでいくように告げる。 ・文字の読み方を言った後、アルファベットの文字を示すなどして、児童の実態に合った支援を行う。 ◎活字体の大文字の読み方を聞いたり言ったりして文字と一致させている。〈行動観察・振り返りカード点検〉	ワークシート (Unit 6-1~6-5)
5分	<b>○身の回りの物の中からアルファベットを探そう。</b>	・前時と同様、教室や児童の文房具や洋服等の中からアルファベットの大文字を見つけ、その読み方とともに発表させる。児童の実態に応じて教室や学校内に広げる。	児童の持ち物 (文房具など)
5分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。	・本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。	振り返りカード
2分	<b>○歌 Goodbye Song (Unit 2)</b> ・挨拶をする。	・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。	デジタル教材

## 3年 Unit 6-Lesson 3 ALPHABET アルファベットとなかよし 3/4時間

目 標 活字体の大文字とその読み方に慣れ親しむ。

準 備 デジタル教材, 児童用テキスト, 教師用カード (大文字), 児童用カード (大文字), 児童用カード (大文字) のコピー, Let's Try! 2 ワークシート (Unit1-2, 1-3 ビンゴシート), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。I'm ~. How are you?	・全体に挨拶をし, 個別に数名の児童に挨拶をする。	
3分	<b>【Let's Sing】 ABC Song p.23</b> ・音声に合わせて歌う。	・児童と一緒に歌う。	デジタル教材
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">             A, B, C, D, E, F, G, H, I, J, K, L, M, N, O, P, Q, R, S, T, U, V, W, X, Y, Z.              Happy, happy, I'm happy. I can sing my ABC.           </div>			
8分	<b>○ビンゴ・ゲーム</b> ・自由に児童用カードを並べ (3×3, 4×4など) 指導者が読み方を言ったカードを裏返していく。 ・縦, 斜め, 横一列にカードが裏返れば, ビンゴと言う。	・児童はペアで, 文字カードの内から9枚を選び, 机の上に縦・横3列に並べる。児童の実態に応じて16枚 (4×4), 25枚 (5×5) も可。また, 13枚ずつ2回に分けて (A~M, N~Z) 行うことも考えられる。Let's Try! 2 ワークシート (Unit1-2, 1-3 ビンゴシート) を活用してもよい。 ・ランダムにアルファベットの文字の名称の読み方を言う。 ◎活字体の大文字の読み方を聞いたり言ったりして文字と一致させている。〈行動観察・振り返りカード点検〉	教師用カード (大文字) 児童用カード (大文字) Let's Try! 2 ワークシート (Unit1-2, 1-3 ビンゴシート)
17分	<b>【Let's Play】 p.24</b> ・アルファベットの文字の形に着目して自由に仲間分けし, テキストに置く。	・アルファベットの文字の形への認識を深めさせることがねらいである。 ・直線のみ, 曲線のみ, 左右対称, お気に入りの文字など, 自由な発想で仲間分けさせる。 ・最後に, 発表させて仲間分けの理由を共有する。	児童用カード (大文字)
8分	<b>○アルファベットの文字を集めよう。</b> ・2回程度行う。	・デモンストレーションをして, 進め方を理解させる。 ・アルファベットの文字の名称の読み方とともに, 次時のやり取りで使用する表現にも慣れさせることがねらいである。	児童用カード (大文字) のコピー
<b>進め方</b> ・児童が名称を言いやすいアルファベットの文字5~6種類程度のカードを人数分用意する。全てのカードをシャッフルしておき, 1人に5~6枚のカードを配る。(同じアルファベットの大文字カードを黒板に掲示しておく) ・児童は, 配られた文字を見て, Aから順に揃えろとか, 全部同じアルファベットにするなど, どのように集めるかを心の中で決める。自由に歩き, 相手を見つけて, Hello. (欲しいアルファベットの文字), please. と言う。それを持っていたら Here you are. もらったら Thank you. You are welcome. などと言う。持っていなかったら, Sorry. と言って, 違うカードを渡す。その場合も, Thank you. と言う。2~3分程度で席に着く。			
		◎活字体の大文字の読み方を聞いたり言ったりして文字と一致させている。〈行動観察・振り返りカード点検〉	
5分	・本時の活動を振り返り, 振り返りカードに記入する。	・英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。	振り返りカード
2分	<b>○歌 Goodbye Song (Unit 2)</b> ・挨拶をする。	・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。	デジタル教材

3年 Unit 6-Lesson 4 ALPHABET アルファベットとなかよし 4/4時間
目 標 相手に伝わるように工夫しながら、自分の姓名の頭文字を伝えようとする。
準 備 デジタル教材、児童用テキスト、教師用カード（大文字）、児童用カード（大文字）とそのコピー、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。I'm ~. How are you?	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
3分	<b>【Let's Sing】 ABC Song p.23</b> ・音声に合わせて歌う。	・児童と一緒に歌う。自分の名前の頭文字の時に立ったり座ったりするなどのアレンジもできる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             A, B, C, D, E, F, G, H, I, J, K, L, M, N, O, P, Q, R, S, T, U, V, W, X, Y, Z.              Happy, happy, I'm happy. I can sing my ABC.           </div>	デジタル教材
8分	<b>○アルファベット並べゲーム</b> ・友達と協力し合って、アルファベットカードを順に並べる。	・黒板に、A から Z までの教師用カードをアルファベット順に掲示しておく。 ・ペアで協力しながら A から Z までのカードを机上に並べさせる。(立って並べ、完成したら席に座るなどしてもよい)時間を計るなどして意欲を高めながら数回行う。 ・児童の実態に応じて、Z から A へと逆に並べるなど難易度を上げてよい。	教師用カード（大文字） 児童用カード（大文字）とそのコピー（2人に1組分）
18分	<b>【Activity】 p.25</b> ・自分の姓名の頭文字を集めてイニシャルカードを作成する。 ・文字カードを渡す役と、もらう役に分かれ、英語の名札を参考に、自分の姓と名前の頭文字に必要なカードをもらい、児童用テキストに貼る。	・活動のモデルを示し、進め方を理解させる。 ・事前にカードを複数セット作成しておく。(児童用カード（大文字）をコピーして切っておく。) ・児童を、渡す役ともらう役に分けて活動させる。時間を区切って役割を交替させる。 ・時間に余裕があれば、友達や家族のイニシャルを作成させてもよい。	デジタル教材 児童用カード（大文字）のコピー
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             例1 先生：Hi! The "O" card, please.              れん：Here you are.              先生：Thank you.              れん：You're welcome.           </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             例2 先生：Hello. The "M" card, please.              あやめ：Here you are.              先生：Thank you.              あやめ：You're welcome.           </div>	
7分	・自分の姓名の頭文字を紹介する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             例3              Hello, everyone.              I'm (Ogawa Maki).              "O" and "M".              Thank you.           </div>	◎自分の姓名の頭文字を伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉 ・デジタル教材を見せたり指導者がモデルを示したりして、児童に活動への見通しをもたせながら意欲付けを図る。 ・デモンストレーションで使用する表現を確認し、隣どうしで紹介し合い活動に慣れさせる。 ・個に応じた支援を行い、自信をもって積極的に活動できるようにする。 ・グループや学級全体で、もしくは自由に歩いて紹介し合うなど、学級や児童の実態に合わせて紹介の仕方を工夫する。 ◎相手に伝わるように工夫しながら、自分の姓名の頭文字を伝えている。〈行動観察・振り返りカード点検〉	デジタル教材 児童用テキスト
5分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。	・英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。	振り返りカード
2分	<b>○歌 Goodbye Song (Unit 2)</b> ・挨拶をする。	・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。	デジタル教材

## 3年—Unit 7

## 単元名 This is for you.

## カードをおくろう

## 1. 単元目標

- ・日本語と英語の音声の違いに気付き、形の言い方や、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。(知識及び技能)
- ・欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合う。(思考力、判断力、表現力等)
- ・相手に伝わるように工夫しながら、自分の作品を紹介しようとする。(学びに向かう力、人間性等)

## 2. 言語材料

- What do you want? (A star), please. Here you are. This is for you. Thank you. You're welcome.
  - want, this, a, for, 状態・気持ち (big, small), 形 (square, rectangle, star, diamond), bus, flower, shop, balloon, house, car, candy, 動物 (dog, cat, panda, mouse, bear)
- [既出] I like (blue). Do you like (blue)? Yes, I do. / No, I don't. I don't like (blue). What (sport) do you like? How many (apples)? 形, 色, 数 (1~30), tree

## 3. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ア ゆっくりはっきりと話された際に、自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取るようにする。
話すこと (やり取り)	ウ サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりするようにする。

## 4. 単元計画 (5時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (【 】 , ○) 【 】 = 誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	<p>◆日本語と英語の音声の違いに気付くとともに、形や身の回りの物を表す言い方を知る。</p> <p>○誌面には何があるかな。 ・誌面にあるものなどを発表する。 【Let's Play 1】 p.27 ・シェイプ・クイズでシルエットを見てそれが何かを当てる。 【Let's Play 2】 p.27 ・ペアや個人でポインティング・ゲームをする。 【Let's Watch and Think】 p.28 ・誌面の5種類のカードを見て、カードに記された模様などからそれが何のカードかを考えて発表する。 ・映像資料の音声を聞いて、何のカードかを確認するとともに、季節や行事などの挨拶の言い方を知る。 ○指導者が作成したグリーティングカードを見て、最終活動への見通しをもつ。</p>	◎日本語と英語の音声の違いに気付いている。〈行動観察・振り返りカード分析〉
2	<p>◆形の言い方に慣れ親しむとともに、欲しいものを表す表現を知る。</p> <p>○ミッシング・ゲーム 【Let's Watch and Think】 p.28 ・映像資料を見て、気持ちを届け合うためにさまざまなカードがあることを知るとともに、単元終末の活動への意欲を高める。 ○カードを作ろう。 ・代表児童に欲しいものを尋ねたり、答えたりする。 【Let's Chant】 What do you want? p.27</p>	◎形の言い方を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉

3	<p>◆色や形, 欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>【Let's Chant】 What do you want? p.27  【Let's Listen】 p.29</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音声を聞いて, 誰がどの作品を作ったのかを考えて線で結ぶ。</li> </ul> <p>○マッチング・ゲーム  ○これは何でしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・色形の紙 (10 枚程度) を使って, 形を作り, クイズを作る。</li> <li>・互いに出来上がった形を What's this? と尋ねたり答えたりする。</li> </ul>	<p>◎色や形, 欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
4	<p>◆欲しい物を尋ねたり答えたりして伝え合う。</p> <p>【Let's Chant】 What do you want? p.27  【Activity】 p.29</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・欲しいものを尋ねたり答えたりして形を集め, グリーティングカードを作る。</li> <li>・デジタル教材を視聴し, 紹介の仕方を知り, 次時への見通しをもつ。</li> </ul>	<p>◎欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
5	<p>◆相手に伝わるように工夫しながら, 自分の作品を紹介しようとする。</p> <p>【Let's Chant】 What do you want? p.27  【Activity】 p.29</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・練習をする。</li> <li>・作品を紹介し合う。</li> <li>・カードを贈る。</li> </ul>	<p>◎相手に伝わるように工夫しながら, 自分の作品を紹介している。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>

## 3年 Unit 7—Lesson 1 This is for you. カードをおくろう 1/5 時間

目 標 日本語と英語の音声の違いに気付くとともに、形や身の回りの物を表す言い方を知る。

準 備 デジタル教材, 児童用テキスト, 教師用カード (色, 形), グリーティングカード (提示用として作成しておく), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物								
2分	・挨拶をする。 I'm ~. How are you?	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。									
10分	○誌面には何があるかな。 ・誌面にあるものなどを発表する。	・ What can you see? What's this? などと児童に問いかけ、誌面はどのような場所で、何があるかを、児童の答えやつぶやきを拾いながら、デジタル教材を使ったり、指導者自身がその英語を紹介したりし、遊園地であることを理解させる。また、形や身の回りの物の言い方に出会わせる。その際、日本語と英語の音声の違いに気付かせるようにする。 <誌面にあるもの> roller coaster, castle, tree, bus, shop, balloon, Ferris wheel, flower, candy, ice cream, hot dog, (clock, flag), circle, triangle, square, rectangle, heart, star, diamond ◎日本語と英語の音声の違いに気付いている。<行動観察・振り返りカード分析>	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (色, 形)								
10分	【Let's Play 1】 p.27 ・シェイプ・クイズ (2種類) で、シルエットを見てそれが何かを考えて答える。	・黒い数種類の形のシルエットから、それが何かを推測させたり、好きな形を言わせその後ろに隠れている動物を考えて答えさせる。活動を通して、形の言い方への興味を高め、慣れ親しませるようにする。	デジタル教材								
8分	【Let's Play 2】 p.27 ・ペアや個人でポインティング・ゲームをする。	・形の言い方を確認した後、ペアで行う。指導者が言った形や身の回りの物をさすようにする。 ・ペアで協力したり個人で行ったり、指導者が言うスピードを徐々に速くしたりして意欲が持続するよう工夫する。	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (色, 形)								
5分	【Let's Watch and Think】 p.28 ・誌面の5種類のカードを見て、カードに記された模様などからそれらが何のカードかを考えて発表する。 ・映像資料の音声を聞いて、何のカードかを確認するとともに、季節や行事などの挨拶の言い方を知る。	・誌面にあるカードは、どのような行事等のためのものかを考えさせ、児童のつぶやきを拾いながら、季節や行事などの挨拶の言い方に出会わせる。デジタル教材 (カードにある▶のボタン) で音声を聞かせ確認する。 Happy Valentine's Day, Happy Birthday, Thank You, Merry Christmas, Happy New Year	デジタル教材 児童用テキスト								
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">① This is for you. Merry Christmas!</td> <td style="width: 50%;">④ Thank you, Graham <i>sensei</i>. This is for you</td> </tr> <tr> <td>② This is for you. Happy Birthday.</td> <td>Ah, so nice. My treasure.</td> </tr> <tr> <td>③ This is for you. Happy Valentine's Day.</td> <td>⑤ What's this?</td> </tr> <tr> <td></td> <td>It's a <i>nengajo</i>, Japanese New Year's Card, from Ren in Kyoto. Look, this is Ren.</td> </tr> </table>				① This is for you. Merry Christmas!	④ Thank you, Graham <i>sensei</i> . This is for you	② This is for you. Happy Birthday.	Ah, so nice. My treasure.	③ This is for you. Happy Valentine's Day.	⑤ What's this?		It's a <i>nengajo</i> , Japanese New Year's Card, from Ren in Kyoto. Look, this is Ren.
① This is for you. Merry Christmas!	④ Thank you, Graham <i>sensei</i> . This is for you										
② This is for you. Happy Birthday.	Ah, so nice. My treasure.										
③ This is for you. Happy Valentine's Day.	⑤ What's this?										
	It's a <i>nengajo</i> , Japanese New Year's Card, from Ren in Kyoto. Look, this is Ren.										

3分	○指導者が作成したグリーティングカードを見て、最終活動への見通しをもつ。	・指導者が作成したカード（様々な形を使って作成したもの）を見せて、「ありがとうの気持ちを届けるカードをおくろう」などと、単元終末への見通しをもたせるとともに、意欲付けを図る。	グリーティングカード（指導者作成）
5分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。	・児童の気付きや本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。	振り返りカード
2分	・挨拶をする。	・挨拶をする。	





	<p>やり取りの例          指導者: Look. This is a card. Let's decorate it.                    S1, what do you want? A purple circle? A red triangle? A white square? What do you want?          S1      : Heart.          指導者: A heart? A pink heart?          S1      : A pink heart.          指導者: Good. A pink heart, please? (言うように促す)          S1      : A pink heart, please.          指導者: Great. A pink heart, here you are. (色, 形カードを渡し, 黒板に描かれた長四角のカードに飾るよう促す)</p>		
		<p>◎形の言い方を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	
<p>8分</p>	<p><b>【Let's Chant】 What do you want?</b>          p.27          ・音声に合わせてチャンツを言う。          ・色, 形を替え, 出来上がったものを考えて, チャンツを言う。</p>	<p>・最初は音声のみを聞かせてどんな英語が聞こえたかを尋ね興味を引いた後, 画面を見せて言わせる。          ・チャンツの台詞の色, 形, 出来上がったものを児童に選ばせ, チャンツのリズムに合わせてみんなで言う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>What do you want? A red triangle, please.              What do you want? A pink square, please.              Wow! A house.</p> <p>What do you want? A blue rectangle, please.              What do you want? A black circle, please.              What do you want? A black circle, please.              Wow! A car.</p> <p>What do you want? A yellow circle, please.              What do you want? A green triangle, please.              What do you want? A green triangle, please.              Wow! A candy.</p> </div>	<p>デジタル教材          教師用カード (色, 形) を切り抜いたものの複数</p>
<p>5分</p>	<p>・本時の活動を振り返り, 振り返りカードに記入する。</p>	<p>・英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。</p>	<p>振り返りカード</p>
<p>2分</p>	<p>・挨拶をする。</p>	<p>・挨拶をする。</p>	

3年 Unit 7-Lesson 3 This is for you. カードをおくろう 3/5 時間

目 標 色や形, 欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

準 備 デジタル教材, 児童用テキスト, 教師用カード (色, 形), 児童用絵カード (色, 形), 色形の紙 (ワークシート Unit7-1, 7-2 を使って色画用紙をさまざまな形に切り抜いたもの), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。I'm ~. How are you?	・全体に挨拶をし, 個別に数名の児童に挨拶をする。	
4分	<p><b>【Let's Chant】 What do you want?</b> p.27</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音声に合わせてチャンツを言う。</li> <li>・色形を替え, 出来上がったものを考えて, チャンツを言う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童と一緒に言う。</li> <li>・実態に応じて, 前時に作ったオリジナルのチャンツや新たにオリジナルのチャンツを作って言うのもよい。</li> </ul>	デジタル教材
<p>What do you want? A red triangle, please. What do you want? A pink square, please. Wow! A house. What do you want?</p> <p>What do you want? A blue rectangle, please. What do you want? A black circle, please. What do you want? A black circle, please. Wow! A car.</p>		<p>What do you want? A yellow circle, please. What do you want? A green triangle, please. A green triangle, please. Wow! A candy.</p>	
8分	<p><b>【Let's Listen】</b> p.29</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音声を聞いて, 誰がどの作品を作ったのかを考えて線で結ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音声を聞かせる前に, どの作品には, どんな形がいくつ必要かなどについて考えさせて興味を喚起したうえで, 集中して聞かせるようにする。</li> <li>・音声を聞かせ, 誰がどの作品を作ったのかを線で結ばせる。</li> </ul>	児童用テキスト デジタル教材
<p>1 先生 : What do you want, Sayo? さよ : Black stars, please. 先生 : How many? さよ : Two, please. 先生 : OK! What do you want? さよ : A big red circle, please. 先生 : OK! What do you want? さよ : A blue rectangle, please. 先生 : Here you are. さよ : Thank you.</p> <p>2 先生 : What do you want, Takeru? たける : Small pink hearts, please. 先生 : How many? たける : Eight, please. 先生 : OK! What do you want? たける : Green triangles, please. 先生 : How many? たける : Four, please. 先生 : OK! What do you want? たける : Two brown rectangles, please. 先生 : Here you are. たける : Thank you.</p>		<p>3 先生 : What do you want, Emily? エミリー : A big yellow star, please. 先生 : OK! What do you want? エミリー : Nine green triangles, please. 先生 : OK! What do you want? エミリー : A brown square, please. 先生 : Here you are. エミリー : Thank you.</p>	

6分	<p>○マッチング・ゲーム</p> <p>マッチング・ゲームの進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5～6人のグループで行う。グループ全員で1人の児童に What do you want? と尋ね、その児童は欲しいカード（色、形）を ～, please. と隣の人に告げる。持っていたら OK! Here you are. Thank you. You're welcome. とやり取りをする。持っていない場合は、Sorry. と言い、他のカードを渡す。同じカードが2枚揃ったら捨てていく。全てのカードがなくなればあがりとなる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デモンストレーションを行い、方法を理解させる。</li> </ul>	<p>教師用カード（色、形）</p> <p>児童用カード（色、形）</p>
18分	<p>○これは何でしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・色形の紙（10枚程度）を使って、形を作り、クイズを作る。</li> <li>・互いに出来上がった形を What's this? と尋ねたり答えたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デモンストレーションを行い、ペアで欲しい色形カードの受け渡しをして、ある形を作りクイズをすることを理解させる。</li> <li>・出来上がった形を相手に見せ、それが何かを尋ね合わせる。</li> <li>◎色や形、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</li> </ul>	<p>色形の紙（ワークシート Unit 7-1, 7-2 を使って色画用紙をさまざまな形に切り抜いたもの）</p>
5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。</li> </ul>	<p>振り返りカード</p>
2分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	

## 3年 Unit 7-Lesson 4 This is for you. カードをおくろう 4/5 時間

目 標 欲しい物を尋ねたり答えたりして伝え合う。

準 備 デジタル教材, 児童用テキスト, 教師用カード (色形), 色形の紙 (ワークシート Unit 7-1, 7-2 を使って色画用紙をさまざまな形に切り抜いたもの), ワークシート (Unit 7-3~7-5) とそれを使って作成したグリーティングカード (児童の作品), 色鉛筆やのりなど (児童各自で準備), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。I'm ~. How are you?	・全体に挨拶をし, 個別に数名の児童に挨拶をする。	
4分	<p><b>【Let's Chant】 What do you want?</b> p.27</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音声に合わせてチャンツを言う。</li> <li>・色, 形を替え, 出来上がったものを考えて, チャンツを言う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童と一緒に言う。実態に応じて, 前時に作ったオリジナルのチャンツを言うのもよい。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>What do you want? A red triangle, please. What do you want? A pink square, please. Wow! A house.</p> <p>What do you want? A blue rectangle, please. What do you want? A black circle, please. What do you want? A black circle, please. Wow! A car.</p> <p>What do you want? A yellow circle, please. What do you want? A green triangle, please. What do you want? A green triangle, please. Wow! A candy.</p> </div>	デジタル教材 教師用カード (色, 形)
27分	<p><b>【Activity】 p.29</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・欲しいものを尋ねたり答えたりして形を集め, グリーティングカードを作る。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>やり取りの例</b> A: What do you want? B: ~, please. A: How many? B: ~, please. A: OK! Here you are. B: Thank you. A: You are welcome.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な形を集めたら, それらを使って何かの形を作り台紙に貼る。贈る相手の名前やメッセージも添える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者がデモンストレーションをしたりデジタル教材を使用したりして, 進め方を理解させる。</li> <li>・前時での活動の経験を生かして, お店屋さんごっこの要領で, 形をもらう側と渡す側に分かれ, 前半と後半で役割を交替させる。(学級の人数や実態に応じて形態や方法を工夫するとよい。)</li> <li>・積極的にやり取りが行えるように支援する。</li> <li>・中間評価を行い, 後半の活動がねらいに沿ったものとなるようにする。中間評価では, 例えば, 前半の活動で気持ちのよいやり取りをしているペアを見つけておき, みんなの前でそのやり取りを再現させ, どのような点がよいかをみんなで考え, 後半はそれを生かしたやり取りとなるように促す。</li> <li>・贈る相手を学級の友達に限定する場合は, どの児童にもカードが届くように配慮する。</li> </ul> <p>◎欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合っている。&lt;行動観察・振り返りカード点検&gt;</p>	児童用テキスト デジタル教材 色形の紙 (ワークシート Unit 7-1, 7-2 を使って色画用紙をさまざまな形に切り抜いたもの) 色鉛筆やのりなど (児童各自で準備) ワークシート (Unit 7-3~7-5)
5分	・デジタル教材を視聴し, 紹介の仕方を知り, 次時への見通しをもつ。	・作成したもの (花, ロボットなど) を紹介したり, グリーティングカードを渡したりする際に使う表現をデジタル教材で確認させ, 時間があれば次時の発表に向けて練習させる。	ワークシート (Unit 7-3~7-5) とそれを使って作成したグリーティングカード (児童の作品)
5分	・本時の活動を振り返り, 振り返りカードに記入する。	・英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。	振り返りカード
2分	・挨拶をする。	・挨拶をする。	

3年 Unit 7-Lesson 5 This is for you. カードをおくろう 5/5時間

目 標 相手に伝わるように工夫しながら、自分の作品を紹介しようとする。

準 備 デジタル教材, 児童用テキスト, 教師用カード (色, 形), ワークシート (Unit 7-3~7-5) とそれを使って作成したグリーティングカード (児童の作品), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。I'm ~. How are you?	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
4分	<p><b>【Let's Chant】 What do you want?</b> p.27</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音声に合わせてチャンツを言う。</li> <li>・色, 形を替えてチャンツを言う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童と一緒に言う。</li> <li>・実態に応じて、前時に作ったオリジナルのチャンツを言うのもよい。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>What do you want? A red triangle, please. What do you want? A pink square, please. Wow! A house.</p> <p>What do you want? A blue rectangle, please. What do you want? A black circle, please. What do you want? A black circle, please. Wow! A car.</p> <p>What do you want? A yellow circle, please. What do you want? A green triangle, please. What do you want? A green triangle, please. Wow! A candy.</p> </div>	デジタル教材 教師用カード (色, 形)
32分	<p><b>【Activity】 p.29</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・練習をする。</li> <li>・作品を紹介し合う。</li> <li>①ペアで</li> <li>②グループで</li> <li>③全体の前で (代表児童)</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>紹介の例 Hello. This is my card. Two blue hearts. One big pink circle. A rabbit.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カードを贈る。 This is for you, (名前).</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者が、デモンストレーションをしたりデジタル教材で音声を聞かせたりして、紹介の仕方のイメージを持たせる。</li> </ul> <p>&lt;紹介の例&gt; Hello. This is my card. (カードの表はまだ見せない) One pink circle, one yellow circle, one white circle, and two brown rectangles. Ice cream.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まず、隣、前後、斜めペアで自身のカードを紹介し合わせる。相手に気持ちが伝わるようにするには、どのような工夫が必要か、活動後にアドバイスし合わせるなどして、ねらいに沿った活動となるようにする。</li> <li>・積極的に発表できるように個に応じた支援を行う。</li> <li>・活動を途中で止めて中間評価を行い、良い事例を全員の前で紹介するなど、後半の活動がよりねらいに沿ったものとなるようにする。</li> </ul> <p>◎相手に伝わるように工夫しながら、自分の作品を紹介している。&lt;行動観察・振り返りカード点検&gt;</p>	児童用テキスト デジタル教材 ワークシート (Unit 7-3~7-5) とそれを使って作成したグリーティングカード (児童の作品)
5分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。	・英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。	振り返りカード
2分	・挨拶をする。	・挨拶をする。	

## 3年－Unit 8

## 単元名 What's this? これなあに？

## 1. 単元目標

- ・外来語とそれが由来する英語の違いに気付き、身の回りの物の言い方や、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。(知識及び技能)
- ・クイズを出したり答えたりし合う。(思考力, 判断力, 表現力等)
- ・相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしようとする。(学びに向かう力, 人間性等)

## 2. 言語材料

- What's this? Hint, please. It's (a fruit). It's (green). It's (a melon). That's right.
- it, hint, sea, 動物(elephant, horse), spider

[既出] I like (blue). Do you like (blue)? Yes, I do. / No, I don't. No. Sorry. 数(1~30), 果物・野菜, 飲食物, 動物, 色, 形, 状態・気持ち, what, is, this, please

## 3. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ア ゆっくりはっきりと話された際に、自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取るようにする。
話すこと (やり取り)	ウ サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりするようにする。

## 4. 単元計画 (5時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (【 】 , ○) 【 】 = 誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	◆外来語とそれが由来する英語の違いに気付き、身の回りの物の言い方に慣れ親しみ、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現を知る。  【Let's Play 1】 p.31 ・映像資料を視聴し隠れている物が何かを考える。 【Let's Play 2】 p.32 ・シルエットや断面図から何かを当てる。  ○シャッフル・ゲーム  【Let's Chant】 What's this? p.31	◎外来語と英語の音声の違いに気付いている。<行動観察・振り返りカード分析> ◎身の回りの物の言い方を聞いたり言ったりしている。<行動観察・振り返りカード点検>
2	◆身の回りの物の言い方や、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。  【Let's Chant】 What's this? p.31 ○What's this? クイズ ○ステレオ・ゲーム  【Activity】 ①ヒント・クイズ Q 1 p.32, 33 ・3つのヒントの音声を聞いて、それが何かを考えて答える。	◎ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現を聞いたり言ったりしている。<行動観察・振り返りカード点検>
3	◆ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。  【Let's Chant】 What's this? p.31 【Activity】 ①ヒント・クイズ Q 2, 3 p.32, 33 ・映像資料でヒントを聞いてそれが何かを考え、答える。 ・ヒントを考えクイズを出す。代表児童がヒントを聞いて答える。	◎ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現を聞いたり言ったりしている。<行動観察・振り返りカード点検>

4	<p>◆ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>【Let's Chant】 What's this? p.31  【Activity】 ②漢字クイズ, ③足あとクイズ p.32, 33</p> <p>○クイズ大会の準備をする。  ・これまでに行ったクイズや他のクイズなどから, グループで1つ選び準備をする。</p>	<p>◎ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
5	<p>◆ある物について尋ねたり答えたりして伝え合ったり, 相手に伝わるように工夫しながら, クイズを出したり答えたりしようとする。</p> <p>【Let's Chant】 What's this? p.31  【Activity】 クイズ大会をしよう。 p.32, 33</p> <p>・グループごとにクイズを出し合う。  ・出題側と回答側に分かれ, 途中で交替して行う。</p>	<p>◎ある物について尋ねたり答えたりして伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎相手に伝わるように工夫しながら, クイズを出したり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>

<p>3年 Unit 8—Lesson 1 What's this? これなあに? 1/5 時間</p> <p>目 標 外来語とそれが由来する英語の違いに気付き、身の回りの物の言い方に慣れ親しみ、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現を知る。</p> <p>準 備 デジタル教材、児童用テキスト、教師用カード（野菜、果物、動物）、振り返りカード</p>
--

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。 I'm ~. How are you?	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
13分	<p><b>【Let's Play 1】 p.31</b></p> <p>・映像資料を視聴し隠れている物が何かを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① What's this? A nest? Yes, it's a nest.</p> <p>② What's this? A gorilla? No, it isn't. It's a spider.</p> <p>③ What's this? A face? No, it isn't. It's a moth.</p> <p>④ What's this? A tree? Yes, it's a tree. Look, an owl in the tree.</p> </div>	<p>・誌面を示しながら、What's this? What can you see? などと尋ね、場面を理解させるとともに、自然の中で遊んだ経験を引き出すなどして活動への意欲付けを図る。</p> <p>・虫眼鏡の中に見える物についても、What's this?と問い、個人やグループで予想させ、デジタル教材で答えを確かめる。</p> <p>・自然な会話の中で、昆虫など身の回りの物の言い方やある物が何かと尋ねる表現と出会わせるようにする。 (見開きページ左から) (春) カラスの巣 (夏) クモ (秋) ガの羽 (冬) フクロウ</p>	デジタル教材 児童用テキスト
10分	<p><b>【Let's Play 2】 p.32</b></p> <p>・シルエットや断面図から何かを考えて答える。 (上段左から) にんじん・きゅうり・桃・パイナップル (下段左から) 玉ねぎ・ピーマン・オレンジ・トマト</p>	<p>・映像のシルエットや断面図を見せ、それぞれが何かを考えさせ、発表させる。児童の答えを引き出しながら、野菜などの言い方に出会わせる。</p> <p>・peach, pineapple, orange, tomato など、外来語としてなじみのある野菜や果物を扱うことから、英語での言い方に出会わせる際に、日本語では手をフラットに移動して発音して聞かせ、英語の場合には、強く発音する部分などは、手をあげたりして、音声の違いに気付かせるようにする。</p> <p>◎外来語と英語の音声の違いに気付いている。&lt;行動観察・振り返りカード分析&gt;</p>	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード（野菜、果物）
8分	○シャッフル・ゲーム	・身の回りの物の言い方を確認し、デモンストレーションで進め方を示す。	教師用カード（野菜、果物、動物）
<p><b>進め方</b></p> <p>・英語での言い方を確かめながら、順に教師用カード（野菜、果物、動物）を裏返す（3～4枚）。児童に入れ替えた順が分かるように、2、3回入れ替える。1枚のカードをさし、What's this?と児童に尋ねる。児童の答えに応じてカードを表に返し、確認する。絵カードを替えたりして活動を繰り返し、身の回りの物の言い方に慣れ親しませる。</p>			
		◎身の回りの物の言い方を聞いたり言ったりしている。<行動観察・振り返りカード点検>	
5分	<p><b>【Let's Chant】 What's this? p.31</b></p> <p>動物（犬・猿・虎）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>What's this? What's this? What's this? It's a dog! It's a monkey! It's a tiger! Wow, that's right!</p> </div>	<p>・最初は画面を見せずに、音声だけを集中して聞かせ、どんな英語が聞こえたかを尋ねるなどして、意欲付けを図る。</p> <p>・画面を見ながらクイズに答えるような気持ちで、リズムに乗って楽しく言わせるようにする。慣れたら、動物の部分を中心に替えてオリジナルチャンツを作って言ってもよい。</p>	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード（動物）
5分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。	・英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。	振り返りカード
2分	・挨拶をする。	・挨拶をする。	



## 3年 Unit 8—Lesson 2 What's this? これなあに? 2/5 時間

目 標 身の回りの物の言い方や、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

準 備 デジタル教材, 児童用テキスト, 教師用カード (色, 形, 野菜, 果物, 動物, 大文字), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。 I'm ~. How are you?	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
4分	<b>【Let's Chant】 What's this? p.31</b> ・音声に合わせてチャンツを言う。	・児童と一緒に言う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">         What's this? What's this? What's this?          It's a dog! It's a monkey! It's a tiger!          Wow, that's right!       </div>	デジタル教材
10分	○What's this? クイズ	・指導者は、これまでに児童が慣れ親しんだ語彙の教師用カードの上に、無地のカードを重ねて持ち、児童に What's this? と尋ねる。児童に Hint, please? とヒントが欲しいか尋ね、児童から Hint, please. という表現を引き出しながら無地のカードを少しずつらして、その下にある絵の一部を見せ、What's this? と尋ねる。これを繰り返しながら、児童にこれまでに慣れ親しんだものを思い出させたり、ある物が何かを尋ねる際の表現を何度も聞かせ慣れ親しませたりするようにする。	教師用カード (動物, 果物, 野菜) 教師用カード (大文字)
10分	○ステレオ・ゲーム What's this? It's ~.	・ステレオ・ゲームをすることを告げ、デモンストレーションで進め方を示す。最初は、指導者が What's this? と尋ねるが、児童も一緒に尋ねるよう促す。活動中は個に応じた支援を行う。	教師用カード (動物, 果物, 野菜) 教師用カード (大文字)
<b>ステレオ・ゲームの進め方</b> ・黒板に5～6枚の絵カードを貼る。代表児童を3～4名指名し、それぞれの児童に、黒板の教師用カードと同じものの中から選んだカードを、他の児童に見えないように持たせる。他の児童は、全員で What's this? と、代表児童が持っているカードを指しながら尋ね、代表児童は、同時に、(It's) ~. と答える。それを聞いて、誰が何と言ったか当てるゲーム。表現に慣れ親しませることがねらい。			
		◎ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉	
12分	<b>【Activity】 ①ヒント・クイズ Q 1</b> p.32, 33 ・3つのヒントの音声を聞いて、それが何かを考えて答える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">         Hint 1 : A fruit.          Hint 2 : Yellow.          Hint 3 : Monkey.          What's this?          It's a banana.          That's right.       </div>	・デジタル教材を使って、ヒント・クイズの Q 1 のみを出題する。Q 1 はヒントが単語レベルであるが、Q 2, 3 は文レベルであることから次時で扱い、本時では Q 1 のみを扱う。 ・3つのヒントの音声を聞かせ、それが何かを考えて答えさせる。これを参考に、児童がこれまでに慣れ親しんだ語句を使って、以下のようなヒントを考えて出題する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">         A: Hello.          B: What's this?          A: Hint 1. (It's) ~ (fruit などのカテゴリー) .          A: Hint 2. (It's) ~. (色など)          A: (Hint 3. (It's) ~.)          B: It's ~.          A: That's right. Thank you.       </div>	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (色, 形, 野菜, 果物, 動物, 大文字)

**進め方**

- ・事前に、黒板に掲示した絵カードの中から、1枚を封筒に入れておき、その封筒を指さして **What's this?**と問い、児童の興味をひく。そして、**Hint 1. A fruit. Hint 2. Red.** などとヒントを出して、それが何かを考えて答えさせる。
- ・児童がこれまでに慣れ親しんではないが、指導者のジェスチャーや児童用テキストのイラストで見たり、外来語で聞いたりしたことがあるような語彙で、その意味を類推しやすい **small, vegetable, animal, purple** などをヒントにする。そうすることによって英語だけだなんとなく分かる体験をさせるようにする。また、このようにヒントの出し方を十分に示すことで、単元終末の活動につなげる。

5分	・本時の活動を振り返り，振り返りカードに記入する。	・英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。	振り返りカード
2分	・挨拶をする。	・挨拶をする。	

## 3年 Unit 8—Lesson 3 What's this? これなあに? 3/5 時間

目 標 ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

準 備 デジタル教材, 児童用テキスト, 教師用カード (食べ物, 動物など), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物												
2分	・挨拶をする。 I'm ~. How are you?	・全体に挨拶をし, 個別に数名の児童に挨拶をする。													
4分	<b>【Let's Chant】 What's this? p.31</b> ・音声に合わせてチャンツを言う。	・児童と一緒に言う。 What's this? What's this? What's this? It's a dog! It's a monkey! It's a tiger! Wow, that's right!	デジタル教材												
10分	<b>【Activity】①ヒント・クイズ Q2, 3 p.32, 33</b> ・映像資料でヒントを聞いてそれが何かを考え, 答える。	・デジタル教材を使って, ヒント・クイズ Q 2, 3 を行う。前時は, Q 1 で単語レベルを扱ったが, 本時は, It's ~. の文を扱う。 ・2つのクイズの後, これらを参考に, 以下のようなヒントや前回のヒントから It's ~. で表現するのに適切なヒントを考えて出題する。 ・デジタル教材の画面にある 14 種類の物から 1つを選び, 児童がこれまでに慣れ親しんだ語句を使うようにする。その際, 事前に黒板に掲示した絵カードの中から, ある物の絵カードを封筒に入れておき, その封筒を指さして What's this? と問い, 児童の興味をひく。 ・児童自身がヒントを考える次の活動につなげる。	デジタル教材 児童用テキスト												
		<table border="1"> <tr> <td>Hint 1 : It's a fruit.</td> <td>Hint 1 : It's an animal.</td> </tr> <tr> <td>Hint 2 : It's red.</td> <td>Hint 2 : It's black and white.</td> </tr> <tr> <td>Hint 3 : It's a triangle.</td> <td>Hint 3 : It's from China.</td> </tr> <tr> <td>What's this?</td> <td>What's this?</td> </tr> <tr> <td>It's a strawberry.</td> <td>It's a panda.</td> </tr> <tr> <td>That's right.</td> <td>That's right.</td> </tr> </table>	Hint 1 : It's a fruit.	Hint 1 : It's an animal.	Hint 2 : It's red.	Hint 2 : It's black and white.	Hint 3 : It's a triangle.	Hint 3 : It's from China.	What's this?	What's this?	It's a strawberry.	It's a panda.	That's right.	That's right.	
Hint 1 : It's a fruit.	Hint 1 : It's an animal.														
Hint 2 : It's red.	Hint 2 : It's black and white.														
Hint 3 : It's a triangle.	Hint 3 : It's from China.														
What's this?	What's this?														
It's a strawberry.	It's a panda.														
That's right.	That's right.														
		クイズ・ヒント例 It's an apple.: It's a fruit / red / a circle. It's milk.: It's white / a rectangle / a drink.													
22分	・ヒントを考えクイズを出す。代表児童がヒントを聞いて答える。	・前活動の流れでヒント・クイズを以下のように行う。	教師用カード (食べ物, 動物など) 児童用テキスト デジタル教材												

**ヒント・クイズの進め方**

- ・質問に答える代表児童を選ぶ。その児童は, 前に出てほかの児童に背を向けて立つ。
- ・指導者は, その児童の後ろに立ち, 代表児童に見えないように, 題 (児童がこれまでに慣れ親しんでいる語のイラストや写真, 絵カードなど) をほかの児童に見せる。
- ・他の児童は, その題について色や形, カテゴリーのヒントを出す。その後, 一斉に What's this? と尋ねる。
- ・代表児童は, ヒントを頼りにそれが何かを答える。
- ・児童の実態に応じて, 上記のように全体で行ったり, グループやペアで行ったりするなど活動形態を工夫するとよい。扱う語彙は, 児童が色や形, カテゴリーなどヒントを出しやすいものにする。
- ・児童が慣れてきたら, 比較的ヒントが出し易い語をあらかじめ選んでおき, それらの中から選ばせてもよい。
- ・言葉によるヒントとともに, ジェスチャーも可とするなど, 実態に応じた柔軟な支援を行い, 児童が達成感を味わえるようにする。

		<p>※児童にとって出題が難しい場合は、代表児童を2人にして協力して答えを考えさせてもよい。また、クラスを半分に分け「ヒントを出すチーム」と「答えを考えるチーム」とし、「ヒントを出すチーム」に指導者が入り、児童と一緒にヒントを考えるという形態にすることも一案である。</p> <p>◎ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	
5分	・本時の活動を振り返り，振り返りカードに記入する。	・英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。	振り返りカード
2分	・挨拶をする。	・挨拶をする。	

## 3年 Unit 8—Lesson 4 What's this? これなあに? 4/5 時間

目 標 ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

準 備 デジタル教材, 児童用テキスト, クイズで使用するもの, 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。I'm ~. How are you?	・全体に挨拶をし, 個別に数名の児童に挨拶をする。	
4分	<b>[Let's Chant] What's this? p.31</b> ・音声に合わせてチャンツを言う。	・児童と一緒に言う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">What's this? What's this? What's this? It's a dog! It's a monkey! It's a tiger! Wow, that's right!</div>	デジタル教材
10分	<b>[Activity] p.32, 33</b> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">②漢字クイズ 海星 (ヒトデ) What's this? It's a starfish. This <i>kanji</i> means "starfish." 海月 (クラゲ) What's this? It's a jellyfish. This <i>kanji</i> means "jellyfish." 海馬 (タツノオトシゴ) What's this? It's a sea horse. This <i>kanji</i> means "sea horse."</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">③足あとクイズ ネコ What's this? It's a cat. It's a cat's footprint. ウサギ What's this? It's a rabbit. It's a rabbit's footprint. ゾウ What's this? It's an elephant. It's an elephant's footprint.</div>	・児童が自分たちでクイズを作れるよう, 様々なクイズを出したり答えたりする体験をさせる。 ・②漢字クイズ及び③足あとクイズの答えは, 児童用テキストの誌面にはない物もある。 <②漢字クイズ> ・What's this?と, 児童にまず漢字の読み方を尋ねてみる。「うみほし?」などの発言を受けて, 「海の生き物」というヒントを与える。児童は, 「星の形をした海の生き物」ということで「ヒトデ」を思い浮かべると思われる。その後, 英語では何と言うか考えさせる。 ・漢字は, 1文字が意味をもつ表意文字であること, アルファベットの文字は1文字では意味をもたない表音文字であることなどにも触れたりしながら, 言葉の面白さに気付かせるようにする。 <③足あとクイズ> ・足あとをさして What's this?と尋ねる。写真だけでは予想できないと思われるので, 児童に Hint, please. と言わせて, 例えばウサギであれば long ears. などとヒントを与えるようにする。児童に予想をさせた後, デジタル教材で答えを確認する。 ◎ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉	デジタル教材 児童用テキスト
22分	○クイズ大会の準備をする。 ・これまでに行ったクイズや他のクイズなどから, グループで1つ選び準備をする。	・次時に向けてクイズ大会の準備をさせる。 ・各グループを回りヒントの出し方などについて支援する。 ・これまでに扱った「シルエット」「漢字」「足あと」「ヒント」クイズの他, 「お絵かき」「穴開け (裏に写真等を隠し, ○や△等の窓のついた台紙のをせ, 窓を開けヒントとする)」「封筒 (写真を入れ, 少しずつ見せる)」クイズなどもある。児童の自由な発想も認めながら, クイズの方法を選ばせる。	クイズで使用するもの
5分	・本時の活動を振り返り, 振り返りカードに記入する。	・英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。	振り返りカード
2分	・挨拶をする。	・挨拶をする。	

3年 Unit 8—Lesson 5 What's this? これなあに? 5/5 時間
目 標 ある物について尋ねたり答えたりして伝え合ったり、相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしようとする。
準 備 デジタル教材, 児童用テキスト, クイズ大会で使用するもの, 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。 I'm ~. How are you?	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
4分	【Let's Chant】 What's this? p.31 ・音声に合わせてチャンツを言う。	・児童と一緒に言う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">What's this? What's this? What's this? It's a dog! It's a monkey! It's a tiger! Wow, that's right!</div>	デジタル教材
32分	【Activity】 p.32, 33 ・グループごとにクイズを出し合う。 ・出題側と回答側に分かれ、途中で交替して行う。	・出題側と回答側に分かれて活動させ、途中で交替させる。 ・What's this? It's ~. Hint, please. It's ~. That's right. などとやり取りをしながら、クイズを出したり答えたりすることを告げる。 ・相手に伝えるにはどのような工夫が必要か等についても考えさせ、活動のめあてを意識させる。 ・途中で活動を止め、中間評価を行う。相手に伝わるように工夫している例を共有し、後半の活動が一層ねらいに沿ったものとなるようにする。 ◎ある物について尋ねたり答えたりして伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉 ◎相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉	児童用テキスト クイズ大会に使用するもの
5分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。	・英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。	振り返りカード
2分	・挨拶をする。	・挨拶をする。	

## 3年—Unit 9

## 単元名 Who are you?

## きみはだれ?

## 1. 単元目標

- ・日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気付き、誰かと尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。(知識及び技能)
- ・絵本などの短い話を聞いて、おおよその内容が分かる。(思考力、判断力、表現力等)
- ・絵本などの短い話を反応しながら聞くとともに、相手に伝わるように台詞をまねて言おうとする。(学びに向かう力、人間性等)

## 2. 言語材料

- Are you (a dog)? Yes, I am. / No, I'm not. Who are you? I'm (a dog). Who am I? Hint, please.
  - who, 動物(cow, dragon, snake, tiger, sheep, chicken, wild boar), 状態・気持ち(long, shiny, scary, round, furry), 身体の部位(head, eyes, ears, nose, mouth, shoulders, knees, toes)
- [既出] 挨拶・自己紹介, I like (blue). Do you like (blue)? Yes, I do. / No, I don't. What (sport) do you like? How many (apples)? are, not, 色, 形, 状態・気持ち, 動物, 果物・野菜, 飲食物, 数(1~30)

## 3. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと (発表)	ア 身の回りの物について、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。

## 4. 単元計画 (5時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (【 】 , ○) 【 】 = 誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	◆絵本などの短い話を聞いておおよその内容をつかむとともに、日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気付く。 ○絵本の読み聞かせを聞く。(1回目) ○Who am I? クイズ ① ・ヒントを聞いて、何の動物が当てる。 ○ビンゴ・ゲーム (動物)	◎日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気付いている。〈行動観察・振り返りカード分析〉 ※第2時と合わせて評価を行う。
2	◆絵本などの短い話を聞いておおよその内容をつかむとともに、日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気付く。 ○絵本の読み聞かせを聞く。(2回目) ○絵本の場面についての話を聞き、それがどのページかを探す。 ・話を聞き、ペアでその場面を探して指さす。 ○Who am I? クイズ ② (身体の一部) ○歌 Head, Shoulders, Knees and Toes	◎日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気付いている。〈行動観察・振り返りカード分析〉 ◎絵本などの短い話を聞いておおよその内容をつかんでいる。〈行動観察・振り返りカード点検〉
3	◆日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気付くとともに、誰かと尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ○歌 Head, Shoulders, Knees and Toes ○Please Touch ゲーム	◎日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気付いている。〈行動観察・振り返り

	<p>○絵本の読み聞かせを聞く。(3回目)</p> <p>○場面カード並べ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせを聞きながら筋に合うよう、場面カードを並べる。</li> <li>・場面カードを見ながら、指導者と一緒に場面の台詞を再現する。</li> </ul> <p>○チェーン・ゲーム</p>	<p>りカード分析&gt;</p> <p>◎誰かと尋ねたり答えたりする表現を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
4	<p>◆誰かと尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>○歌 Head, Shoulders, Knees and Toes</p> <p>○絵本の読み聞かせを聞く。(4回目)</p> <p>○Who are you? クイズ</p> <p>○発表会の準備をする。</p>	<p>◎誰かと尋ねたり答えたりする表現を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
5	<p>◆絵本などの短い話を反応しながら聞くとともに、相手に伝わるように台詞をまねて言おうとする。</p> <p>○歌 Head, Shoulders, Knees and Toes</p> <p>○絵本の読み聞かせを聞く。(5回目)</p> <p>○絵本の台詞を言って発表会をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアやグループで発表する。</li> </ul>	<p>◎絵本などの短い話を反応しながら聞いている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎相手に伝わるように台詞をまねて言っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>



## 3年 Unit 9—Lesson 1 Who are you? きみはだれ? 1/5 時間

**目 標** 絵本などの短い話を聞いておおよその内容をつかむとともに、日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気付く。  
**準 備** デジタル教材, 児童用テキスト, 教師用カード (ワークシート Unit 9-2 の動物を拡大して切り抜いたもの), 児童用カード (動物), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価方法	準備物
2分	・挨拶をする。 I'm ~. How are you?	・全体に挨拶をし, 個別に数名の児童に挨拶をする。	
15分	○絵本の読み聞かせを聞く。 (1回目)	・まず, デジタル教材で絵本の最初の場面 (テキスト p.34,35)を見せ, What can you see? などと問い, 場面や状況をつかませる。児童自身が「かくれんぼ」をした経験なども引き出しながら, 絵本への興味付けを図る。 ・読み聞かせをする。	デジタル教材 児童用テキスト
<p><b>読み聞かせの進め方</b></p> <p>・児童が「英語を聞いてなんとなく分かった」と実感できるよう, 意味を推測する手がかりとなるような豊かな表情やジェスチャーで読み聞かせを行う。また, 誌面の文字を読むだけでなく, 児童の様子を観察しながら I like dogs. Do you like dogs? などと質問をしたり Can you guess? と隠れている動物を推測させたりしながら, 児童を絵本の場面に引き込むようにする。  ※デジタル教材の音声を聞かせたり, ALT が読み聞かせを行ったりする方法もある。児童の実態等に合わせて読み手や読み聞かせの方法を工夫する。</p>			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10. Ready or not, here I come!  I see something white / black / long.  Are you a ...?  Yes, I am. I'm a rabbit / monkey / snake.  I see something small / square / shiny.  Are you a ...?  Yes, I am. I'm a mouse / cow / horse.  I see something scary / furry / red / round.  Are you a ...?  Who are you?</p> </div>			
8分	○Who am I? クイズ ① ・ヒントを聞いて, 何の動物か考えて答える。	・絵本に登場した動物について質問をしながら, 絵本の話の楽しさを共有したり, 動物の言い方に出会わせたりする。絵本にどんな動物が登場したか児童に尋ね, 児童の答えやつぶやきを拾いながら, 絵カードを見せ確認する。「Who am I? クイズ」をすることを告げる。	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (ワークシート Unit 9-2 の動物を拡大して切り抜いたもの)
<p><b>Who am I? クイズ①の進め方・クイズ例</b></p> <p>○ I'm small. I like cheese. I have a long tail. (mouse)    ○ I'm white. I like carrots. I have long ears. (rabbit)  ○ I'm gray. I'm big. I have a long nose. (elephant)    ○ I'm brown. I like bananas. I'm cute. (monkey)</p> <p>・児童が予想して言ったら, Who are you? と尋ねさせ, 指導者は, その動物の絵カードを見せながら I'm ~. と回答を言う。児童が慣れてきたら, 児童に I'm ~. というよう促す。</p>			

13分	○ビンゴ・ゲーム (動物)	・動物の言い方を確認し、進め方を示す。	児童用カード(既習の動物も含む)(2人に1セット)
<p><b>ビンゴ・ゲームの進め方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童はペアで児童用絵カードの中から9枚を選び、机の上に縦3×横3列に並べる。</li> <li>・児童は一斉に <b>Who are you?</b> と指導者に尋ね、指導者は <b>I'm ~.</b> と答える。児童はその動物の言い方を繰り返し、絵カードがあれば裏返していく。縦、斜め、横一列にカードが裏返れば、ビンゴと言う。</li> <li>・活動を通して、絵と音声を一致させていくことがねらい。慣れてきたら、児童に指導者役をさせてもよい。</li> </ul>			
		◎日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気付いている。〈行動観察・振り返りカード分析〉	
5分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。	・英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。	振り返りカード
2分	・挨拶をする。	・挨拶をする。	

※「絵本などの短い話を聞いておおよその内容をつかむ」という目標に向かって指導を行い、第2時と合わせて評価を行う。

## 3年 Unit 9—Lesson 2 Who are you? きみはだれ? 2/5 時間

**目 標** 絵本などの短い話を聞いておおよその内容をつかむとともに、日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気付く。  
**準 備** デジタル教材, 児童用テキスト, 教師用カード (動物), 場面ごとのカードなど(必要に応じて), 動物の写真など, 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。 I'm ~. How are you?	・全体に挨拶をし, 個別に数名の児童に挨拶をする。	
10分	○絵本の読み聞かせを聞く。(2回目) ・言える部分は一緒に言う。	・ジェスチャーを交えながら表情豊かに読み聞かせをする。 ・2回目となるので, 言える部分は児童の発話を促し, 児童が参加できるような雰囲気を作る。 ・児童の意欲を高めるため, デジタル教材を使用したり ALT が読んだりして, 読み聞かせの方法に変化をつけるなど工夫する。  1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10. Ready or not, here I come! I see something white / black / long. Are you a ...? Yes, I am. I'm a rabbit / monkey / snake. I see something small / square / shiny. Are you a ...? Yes, I am. I'm a mouse / cow / horse. I see something scary / furry / red / round. Are you a ...? Who are you?  ◎日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気付いている。<行動観察・振り返りカード分析>	デジタル教材 児童用テキスト
10分	○絵本の場面についての話を聞き, それがどのページかを探す。 ・話を聞き, ペアでその場面を探して指さす。	・デモンストレーションをして活動方法を理解させる。最初は, ペアで行うとよい。慣れてきたら, 個人で行う。 ・“1, 2, 3, 4... Ready or not, here I come!”などとジェスチャーなどを付けて絵本の1ページを読み, 児童にその場面のページを開かせる。場面ごとのカードをつくり, それをカルタの要領で押さえるようにしてもよい。 ◎絵本などの短い話を聞いておおよその内容をつかんでいる。<行動観察・振り返りカード点検>	デジタル教材 児童用テキスト (必要に応じて, 場面ごとのカードなど)
10分	○Who am I? クイズ ② (身体の一部)	・動物の言い方を確認し, 活動方法を示す。動物の体の一部を見せて, 何の動物か考えて答えさせる。	動物の写真など 教師用カード (動物)
<b>Who am I? クイズ②の進め方・クイズ例</b> ・写真やイラストを使って, 体の一部を見せ (封筒に入れたり, 穴をあけた台紙を上重ねる) たり, スクリーンに映し出したりして, This is my nose. などと言い, 児童の興味を引きながら何の動物かを考えさせる。頭, 目, 耳, 口, 鼻などに特徴がある動物を扱うとよい。体の部位を表す言い方に慣れ親しませることがねらい。 ・予想したら, 全員で Who are you? と尋ね, 指導者が写真やイラストを見せるなどして答えを確かめさせる。			
6分	○歌 Head, Shoulders, Knees and Toes	・指導者は, head, shoulders, knees, toes, eyes, ears, mouth, nose と言いながら, 自身の体のその部位を触る。児童を立たせ, 一緒に言いながら自身の体のその	

		<p>部位を触るよう促す。何度か繰り返した後、徐々にゆっくり歌のメロディーを付けて歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が慣れてきたら、歌のスピードを上げていく。</li> </ul> <p>※デジタル教材には収録されていないが、市販の歌CDを活用したり、インターネットを活用したりすることも考えられる。</p>	
5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。</li> </ul>	振り返りカード
2分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	

## 3年 Unit 9—Lesson 3 Who are you? きみはだれ? 3/5 時間

目 標 日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気付くとともに、誰かと尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

準 備 デジタル教材, 児童用テキスト, 教師用カード (動物), 場面カード (ワークシート Unit 9-1 の6種類のカードを事前に切り取らせておく), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。 I'm ~. How are you?	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
5分	○歌 <b>Head, Shoulders, Knees and Toes</b>	・第1時と同様にして歌を歌う。徐々にスピードを上げるなど歌い方に工夫をし、児童の意欲が維持されるようにする。(デジタル教材には収録されていないが、市販の歌CDを活用したり、インターネットを活用したりすることも考えられる。)	
5分	○Please Touch ゲーム  Please Touch ゲームの進め方 ・ Please touch your (head/ eyes / mouth など). といい、指導者は言った体の部位をタッチする。児童もそれをまねて、言われた部位をタッチする。ただし、please が付かない場合は、動いてはいけない。スピードを速くしたり、指導者がわざと違う部位を触ったりして、活動に変化をつけ児童の意欲が持続するようにする。 ・ 色や形状について Please touch something white / black / long / big / small. など言うこともできる。	・モデルを示して進め方を理解させる。	
	Please touch your ~. Please touch something ~.	◎日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気付いている。<行動観察・振り返りカード分析>	
10分	○絵本の読み聞かせを聞く。(3回目) ・言える部分は一緒に言う。	・ジェスチャーを交えながら表情豊かに読み聞かせをする。3回目となるので、言える部分は児童の発話を促し、児童が参加できるような雰囲気を作る。 ・読み聞かせの方法に変化をつけるなど工夫する。	教師用カード(動物) デジタル教材 児童用テキスト
10分	○場面カード並べ ・読み聞かせを聞きながら筋に合うよう、場面カードを並べる。 ・場面カードを見ながら、指導者と一緒に場面の台詞を再現する。	・ペアに、ワークシート Unit 9-1 の場面カード6種類を1セット用意させる。読み聞かせを聞きながら、協力して、場面カードを筋にあわせて並べさせる。 ・6種類並べ終わったら、その場面の絵本の文を話の筋にあわせて読む。児童も一緒に言うよう促す。	場面カード (ワークシート Unit 9-1 の6種類のカードを事前に切り取らせておく)
6分	○チェーン・ゲーム Who are you? I'm ~. チェーン・ゲームの進め方 4人程度の円を作り、1チームとなる。各児童はなりたい動物を決めておく。2番目の児童が、1番目の児童に Who are you? と尋ね、1番目の児童は、I'm a dog. などと答える。3番目の児童は、2番目の児童に Who are you? と尋ね、2番目の児童は、1番目の児童に向かって Dog! と言ってから、自分の選んだ動物を I'm a cat. などと言う。4番目の児童が、3番目の児童に Who are you? と尋ね、3番目の児童は、1番目の児童に Dog! 2番目の児童に向かって Cat! と言ってから、自分の選んだ動物を I'm a monkey. と言う。次々同様に繰り返し、最後の児童は、チーム全員の動物をそれぞれに言ってから自分の動物を言ったらゴール。個に応じた支援を行うとともに、速さや正確さを求めるのではなく、英語を使おうとする態度を認めるようにする。	・デモンストレーションをして進め方を理解させる。	教師用カード(動物)
		◎誰かと尋ねたり答えたりする表現を聞いたり言ったりしている。<行動観察・振り返りカード点検>	
5分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。	・英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。	振り返りカード
2分	・挨拶をする。	・挨拶をする。	

## 3年 Unit 9—Lesson 4 Who are you? きみはだれ? 4/5 時間

目 標 誰かと尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

準 備 デジタル教材, 児童用テキスト, 教師用カード (動物), 児童用カード (動物: 4~5種類人数分), 場面ごとのカードなど(必要に応じて), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。 I'm ~. How are you?	・全体に挨拶をし, 個別に数名の児童に挨拶をする。	
3分	○歌 <b>Head, Shoulders, Knees and Toes</b>	・児童と一緒に歌う。(デジタル教材には収録されていないが, 市販の歌 CD を活用したり, インターネットを活用したりすることも考えられる。)	
10分	○絵本の読み聞かせを聞く。(4回目) ・言える部分は積極的に言う。	・ジェスチャーを交えながら表情豊かに読み聞かせをする。4回目となるので, 積極的な児童の発話を促し, 児童が参加できるような雰囲気を作る。	教師用カード(動物) デジタル教材 児童用テキスト
8分	○Who are you? クイズ Who are you? Are you ~? Yes. I'm ~. Sorry. I'm ~.	・活動を通して, 相手がだれかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しませるようにする。 ◎誰かと尋ねたり答えたりしている。<行動観察・振り返りカード点検>	児童用カード(動物: 4~5種類人数分) 教師用カード(動物)
<p><b>Who are you? クイズの進め方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師用カード(動物)を見せ児童と一緒に動物を言いながら, 黒板にカードを掲示する。同じ動物の児童用カード(動物)を児童にアトランダムに一枚ずつ配る(首にかけるようにしてもよい)。</li> <li>・児童は自由に歩き, 相手を見つけて, Hello. Who are you? と尋ねる。尋ねられたら, ジェスチャーや鳴き声などでヒントを出す。相手の児童は, Are you ~? と予想をして尋ねる。合っていたら Yes! I'm ~. 違っていたら, Sorry. I'm ~. と言う。相手も同様に繰り返す。2人とも答えが合っていたら, カードを交換する。</li> <li>・最後に指導者が一枚のカードを引き, 全員で Who are you? と尋ねる。指導者が I'm ~. と答え, そのカードを持っている児童が「ラッキーさん」となる。2回程度行う。</li> <li>・児童の発話に文で言うことを求めすぎないようにする。(Are you a dog? Yes (I am).)などのようなやり取りとなっても, 英語を使おうとする態度をしっかりと認めるようにする。</li> </ul>			
15分	○発表会の準備をする。 I see something ~. Are you a(n) ~? Yes, I am. I'm a(n) ~.	・デモンストレーションをして活動方法を理解させるとともに, 児童の意欲を高める。使用する表現を確認する。 ・実態に応じて, ペアやグループで行う。絵本の中から紹介したい場面を1~2つ選び, 役割を決めるなどして練習させる。 ・誌面の通りに真似することを求め過ぎないようにして児童の工夫やアレンジも認め, 積極的な態度を称賛し, 意欲が高まるようにする。	児童用テキスト デジタル教材 教師用カード(動物) (必要に応じて, 場面ごとのカードなど)
5分	・本時の活動を振り返り, 振り返りカードに記入する。	・英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。	振り返りカード
2分	・挨拶をする。	・挨拶をする。	

## 3年 Unit 9—Lesson 5 Who are you? きみはだれ? 5/5 時間

目 標 絵本などの短い話を反応しながら聞くとともに、相手に伝わるように台詞をまねて言おうとする。

準 備 デジタル教材, 児童用テキスト, 教師用カード (動物), 場面ごとのカードなど(必要に応じて), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。 I'm ~. How are you?	・全体に挨拶をし, 個別に数名の児童に挨拶をする。	
3分	○歌 <b>Head, Shoulders, Knees and Toes.</b>	・児童と一緒に歌う。(デジタル教材には収録されていないが, 市販の歌 CD を活用したり, インターネットを活用したりすることも考えられる。)	
10分	○絵本の読み聞かせを聞く。(5回目) ・指導者と一緒に積極的に言う。	・発表会のモデルとなるよう, ジェスチャーを交えながら表情豊かに読み聞かせをする。最後となるので, 児童の積極的な発話を促し, 児童が参加できるような雰囲気を作る。指導者と児童が言う台詞を分担するなどしても楽しい。 ◎絵本などの短い話を反応しながら聞いている。 <行動観察・振り返りカード点検>	教師用カード(動物) デジタル教材 児童用テキスト
23分	○絵本の台詞を言って発表会をする。 ・ペアやグループで発表する。	・相手に伝わるようにするためには, どのような工夫をすればよいか考えさせ, 活動のめあてを意識させる。 ・児童の実態に応じて, 活動形態を工夫し, 児童が達成感を味わえるようにする。 ・途中で活動を止め, 中間評価を行う。相手に伝わるように工夫している例を共有し, 後半の活動が一層ねらいに沿ったものとなるようにする。 ・最後に全体の前で数組発表させる。 ◎相手に伝わるように台詞をまねて言っている。 <行動観察・振り返りカード点検>	教師用カード(動物) デジタル教材 児童用テキスト (必要に応じて, 場面ごとのカードなど)
5分	・本時の活動を振り返り, 振り返りカードに記入する。	・英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。	振り返りカード
2分	・挨拶をする。	・挨拶をする。	